

令和6年度 事業報告書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

令和 6 年度 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会 事業報告

本会では、第 6 次長泉町地域福祉活動計画及び令和 6 年度の事業計画に基づき、「いきいきとした暮らしを支える 優しい ながいずみ」の実現に向けて、行政、民生委員・児童委員協議会、区長連絡協議会、福祉施設、福祉団体並びに関係機関との連携を図りながら、町民の皆様と協働して社会福祉事業を推進した。

なお、令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 3 1 日までの事業ごとの内容は、次葉より報告する。

令和 7 年 5 月 2 3 日

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

会 長 芹 澤 和 代

令和6年度 事業報告書 目次

ページ

I 社会福祉事業

1 法人本部拠点区分

1-1 法人運営事業	1
1-2 地域福祉活動事業	1 6
1-3 福祉総合相談事業	3 3
1-4 共同募金助成金事業	3 9
1-5 手話通訳者派遣事業	4 2
1-6 小口資金貸付事業	4 5
1-7 生活支援体制整備事業	4 6
1-8 権利擁護推進事業	5 4

2 老人福祉センター拠点区分

2-1 福祉会館事業	5 6
------------	-----

3 介護サービス事業拠点区分

3-1 居宅介護支援事業	6 4
3-2 指定通所介護事業	6 7
3-3 指定認知症対応型通所介護事業	7 0
3-4 指定訪問介護事業	7 2
3-5 障害福祉サービス居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業	7 4
3-6 移動支援事業	7 5
3-7 地域活動支援センター事業	7 6

II 公益事業

1 在宅福祉総合センター拠点区分

1-1 在宅福祉総合センター事業	7 8
------------------	-----

事業報告の附属明細書	8 5
------------	-----

I 社会福祉事業

1 法人本部

1-1 法人運営事業

施策の方向3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策3 地域福祉を推進する社会福祉協議会の機能強化

1 会員の拡充と基本財源の確保

本会の支援基盤及び財政的基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

(1) 会員募集結果（令和7年3月31日現在）

令和6年度	会員数	会費収入
普通会員	12,046 口	3,613,800 円
特別会員	260 口	260,000 円
合 計	12,306 口	3,873,800 円
前年比	△206 口	△57,600 円

(2) 会員数の推移

年 度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
普通会員	12,258	12,135	12,139	12,280
特別会員	254	252	262	263
合 計	12,512	12,387	12,401	12,543
会費収入	3,931,400 円	3,892,500 円	3,903,700 円	3,947,200 円

2 定款・規程等の整備

(1) 規程等の整備

① 無線LAN接続サービス利用に関する要綱の制定

町の指定管理を受けて管理する長泉町福祉会館及び長泉町在宅福祉総合センターの貸館施設において、インターネット接続サービスを提供することで、施設利用者の利便性の向上を図るとともに災害発生時における災害ボランティアセンターの情報伝達手段の確保を図るため要綱を制定した。（令和6年12月1日施行）

② 定款施行細則の全部改正

令和6年9月に実施された静岡県による指導監査において、定款の施行に伴う運用等での細目を整備することが望ましいとの助言があり、評議員会等の開催手順等を明確にするため施行細則を全部改正した。

③ 事務局規程の一部改正

同上の県指導監査において、定款に定める理事会において選任、解任する職の根拠を明確にするよう口頭での指摘があり、また職名の整理並びに長泉町からの受託事業を業務として追加するため、規程を一部改正した。

④ 職員職名内規の一部改正

法人内の事業の見直し等により不要となる職に係る補職名を整理するため、内規を一部改正した。

⑤ 専決規程の一部改正

同上の県指導監査において、会長の承認権限である予備費の使用について、経理規程と専決規程における相違について口頭指摘があったため、規程を一部改正した。

⑥ 役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正

同上の県指導監査において、本会が独自で設置する地域共生社会推進委員会の委員報酬等について、委員会の実施要領等の中で定めることが望ましいとの口頭指摘があったため、規程を一部改正した。

⑦ 経理規程の一部改正

同上の県指導監査において、会計帳簿への追加すべき項目について助言を受けたこと、権利擁護推進事業となる法人後見事務での貸金庫使用料収入の受け入れに伴う勘定科目を追加するため規程を一部改正した。

(※②～⑦は、令和7年4月1日施行)

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

第1回理事会 出席者理事8名／定数11名

ア 期 日 6月7日(金)

イ 議 題

i 報告事項

第1号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

ii 決議事項

第2号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の選任

第3号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦

第4号議案 令和6年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算の執行及び契約の締結

第5号議案 令和5年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告の承認

第6号議案 令和5年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算の承認
決算監査報告

第7号議案 令和6年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算
(第1回)の承認

第8号議案 令和6年度第1回評議員選任・解任委員会の開催

第9号議案 令和6年度定時評議員会の開催

第2回理事会 出席者理事8名／定数11名

ア 期 日 11月22日(金)

イ 議 題

i 報告事項

第10号議案 行政機関による立入検査結果及び報告
(消防法に基づく富士山南東消防本部による立入検査)

第11号議案 行政機関による運営指導結果及び報告
(介護保険法に基づく長泉町による運営指導)

第12号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告

第13号議案 令和6年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会中間事業報告

並びに中間決算に伴う定期監事監査報告

ii 決議事項

- 第 14 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会無線 LAN 接続サービス利用に関する要綱の制定
- 第 15 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算の執行及び契約の締結
- 第 16 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第 2 回）の承認
- 第 17 号議案 令和 6 年度第 1 回臨時評議員会の開催

iii その他

- (1) 社会福祉協議会 基本要項 2025
- (2) 地域密着型認知症対応型通所介護事業の廃止

第 3 回理事会 出席者理事 8 名／定数 11 名

ア 期 日 3 月 14 日（金）

イ 議 題

i 報告事項

- 第 18 号議案 行政機関による指導監査結果及び報告
（社会福祉法に基づく静岡県による指導監査）
- 第 19 号議案 行政機関による運営指導結果及び報告
（介護保険法に基づく長泉町による運営指導）
- 第 20 号議案 行政機関による監査結果及び報告
（地方自治法に基づく長泉町による監査）
- 第 21 号議案 行政機関による立入検査結果及び報告
（消防法に基づく富士山南東消防本部による立入検査）

ii 決議事項

- 第 22 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款施行細則の全部改正
- 第 23 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事務局規程の一部改正
- 第 24 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員職名内規の一部改正
- 第 25 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会専決規程の一部改正
- 第 26 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員等の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正
- 第 27 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正
- 第 28 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算（第 3 回）の承認
- 第 29 号議案 令和 7 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画
- 第 30 号議案 令和 7 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算
- 第 31 号議案 令和 7 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算の執行及び契約の締結
- 第 32 号議案 令和 7 年度役員等賠償責任保険の契約
- 第 33 号議案 令和 6 年度第 2 回臨時評議員会の開催

iii その他

- (1) 地域共生社会推進委員会報告

(2) 評議員会

定時評議員会 出席者 13 名／定数 15 名

ア 期 日 6 月 26 日 (水)

イ 議 題

i 決議事項

- 第 1 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員候補者の選任
- 第 2 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業報告の承認
- 第 3 号議案 令和 5 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計決算の承認
決算監査報告
- 第 4 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算
(第 1 回) の承認

第 1 回臨時評議員会 出席者 10 名／定数 15 名

ア 期 日 12 月 4 日 (水)

イ 議 題

i 報告事項

- 第 5 号議案 行政機関による立入検査結果及び報告
(消防法に基づく富士山南東消防本部による立入検査)
- 第 6 号議案 行政機関による運営指導結果及び報告
(介護保険法に基づく長泉町による運営指導)
- 第 7 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会中間事業
報告並びに中間決算に伴う定期監事監査報告
- 第 8 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会無線 LAN 接続サービス利用
に関する要綱の制定

ii 決議事項

- 第 9 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算
(第 2 回) の承認

第 2 回臨時評議員会 出席者 13 名／定数 15 名

ア 期 日 3 月 26 日 (水)

イ 議 題

i 報告事項

- 第 10 号議案 行政機関による指導監査結果及び報告
(社会福祉法に基づく静岡県による指導監査)
- 第 11 号議案 行政機関による運営指導結果及び報告
(介護保険法に基づく長泉町による運営指導)
- 第 12 号議案 行政機関による監査結果及び報告
(地方自治法に基づく長泉町による監査)
- 第 13 号議案 行政機関による立入検査結果及び報告
(消防法に基づく富士山南東消防本部による立入検査)
- 第 14 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会定款施行細則の全部改正
- 第 15 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事務局規程の一部改正
- 第 16 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会職員職名内規の一部改正
- 第 17 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会専決規程の一部改正

第 18 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会役員等の報酬並びに費用弁償
に関する規程の一部改正

第 19 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会経理規程の一部改正

ii 決議事項

第 20 号議案 令和 6 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計補正予算
(第 3 回) の承認

第 21 号議案 令和 7 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会事業計画

第 22 号議案 令和 7 年度社会福祉法人長泉町社会福祉協議会会計予算

iii その他

地域共生社会推進委員会報告

(3) 評議員選任・解任委員会

第 1 回委員会 出席者 3 名／定数 3 名

ア 期 日 6 月 7 日 (金)

イ 議 題

第 1 号議案 社会福祉法人長泉町社会福祉協議会評議員の選任

4 監査及び行政機関調査の実施状況

(1) 監事監査

令和 5 年度決算監査

ア 期 日 5 月 23 日 (木)

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 14 名

令和 6 年度中間監査

ア 期 日 11 月 13 日 (水)

イ 出席者 監事 3 名、会長、事務局長、職員 12 名

(2) 静岡県指導監査

ア 期 日 9 月 5 日 (木)

イ 出席者 県福祉指導課 3 名、事務局長、職員 4 名

(3) 令和 6 年度財政援助団体等監査

ア 期 日 11 月 18 日 (月)

イ 出席者 監査委員 2 名、監査事務局 1 名、福祉保険課 2 名、会長、事務局長
職員 5 名

5 苦情解決窓口設置事業

福祉サービスに対する利用者からの苦情や意見・要望を幅広く汲み上げサービスの
改善を図る観点から苦情解決窓口を設置し、次の体制で対応を図った。

(1) 組織体制

苦情解決責任者	秋山 勉
苦情受付担当者	尾崎弘人、勝又和佳子
第三者委員	渡邊知明、大嶋優子

(第三者委員任期：令和 5 年 4 月 26 日から令和 7 年 4 月 25 日まで)

(2) 苦情・要望解決の状況

施設名	内 容										計	
	ケア関係		嗜好・選択等		財産管理等		制度・施策等		その他			
	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望	苦情	要望
福祉会館	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
いずみの郷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0

(3) 福祉サービスに関する苦情解決取扱状況について

No.	区 分	内 容
1	日 付	令和6年10月1日（火）
	内 容	突発的にボイラー不良のため浴室が利用できなくなった際の案内掲示等について
	場 所	福祉会館玄関、脱衣所
	対 応	・案内掲示について、掲示前に複数の職員で内容確認を行う。 ・券売機購入前に大広間のみの利用か、入浴するかどうか、利用者の意向を確認する。 ・脱衣室の見やすい場所に禁止・禁忌事項を掲示した。 ・（旧）券売機に「入浴料には大広間のご利用も含まれます」と掲示した。 ※旧券売機の前面上段に入浴券と表示されていたため入浴券を購入しても大広間に入ることができないと誤解されていたため。

6 組織体制の整備と職員の資質向上

適正な職員配置による組織運営に努めたほか、研修への参加を通して職員の資質向上を図るとともに、業務に必要な資格の取得について啓発、奨励した。

(1) 職員数の状況

年度当初における職員数の比較

(単位：人)

	正規	嘱託	パート	短時間 パート	登録	人事交流	合計
R7. 4. 1	21	7	2	12	11	0	53
R6. 4. 1	21	9	3	12	10	1	56
増減	－	△2	△1	－	1	△1	△3

(2) 会議・研修参加状況

外部研修・会議 P10からP15参照

(3) 労働安全衛生

① 職員定期健康診断の実施

ア 期 日 7月1日（月）他

イ 受診者【福祉会館】 16名（他院受診1名）

受診者【いずみの郷】 32名（他院受診6名）

受診者計 48名（他院受診7名）

② 職員ストレスチェックの実施

1週間の所定労働時間が30時間以上の職員を対象に実施した。

- ・ 受検者【福 祉 会 館】 14名
- 受検者【いずみの郷】 23名
- 受検者計 37名

③ セルフケア研修の実施

全職員を対象に、職員が日常の仕事や生活から生じる様々なストレスと向き合い、怒りの感情をコントロールし上手に付き合うためのアンガーマネジメントについて研修を実施した。

ア 期 日 11月14日（木）、15日（金）

イ 参加者 39名

④ 産業医による健康講演会の実施

全職員を対象に、2025年問題と終末期の迎え方を考えることを目的として実施した。

ア 期 日 3月26日（水）

イ 参加者 22名

(4) 資格取得状況

(令和7年3月31日現在)

資格名	新規	資格名	新規
社会福祉士	2人	精神保健福祉士	0人
介護福祉士	0人	介護支援専門員	0人

7 その他

(1) 職員と取り組む『長泉町社協の未来設計』サポート事業

近年の本会の経営状況は、全社協が作成した財務分析シートで収益性を示すサービス活動増減差額率、経常増減差額率で大きなマイナスとなっており、財政状況の悪化から将来的に経営の安定を損なう状況にある。そのため、この慢性的な赤字経営状況について各部門主任を中心として、本会や競合他社の状況、社会環境の分析を実施した。

月 日 時 間	会場	内容	参加者
8月8日(金) 13:30~16:00	いずみの郷 3F 集会室	取組の全体像の共有 ヒアリング用宿題有	会長・局長・各主任
8月23日(金) 11:00~17:00	いずみの郷 3F 研修室	介護事業の現状・競合・顧客 の把握とヒアリング	各主任・担当者
9月13日(金) 11:00~17:00	福祉会館 1F 第二会議室	補助・受託・委託・指定管理 事業の現状・競合・顧客の把握 とヒアリング	各主任・担当者
10月 3日(木) 9:50~12:15	イワサキ経営	現状把握・事業方針検討	局長・担当者
10月29日(火) 14:00~17:00	いずみの郷 3F 研修室	社協の方向性について	会長・局長・担当者

財務分析シートでのマイナス原因は、介護保険事業収益減によるものが大きい。

本会や競合他社の状況や社会環境の分析を実施後、事業方針を検討した結果、指定認知症対応型通所介護事業においては、指定通所介護事業へ利用者の移行を図り、令和7年3月31日をもって事業を廃止した。

また、SWOT分析を実施し、社協らしいサービスの事業展開として、日常生活の導線上に社協がある安心感を軸としたなか、対象者を元気な高齢者、団塊ジュニア世代や在宅の障がい者の方たちと捉え、落ち着ける居場所の提供、e スポーツ及び介護予防などを通じて施設を有効活用する新規サービスについて検討していくこととした。

(2) データサーバー、グループウェアのクラウド移行

BCPの課題とされたデータサーバーとグループウェアをローカルサーバーからクラウドサーバーに移行し、データ保護を強化した。(令和6年9月30日)

(3) BCPの運用

ア BCPの見直し

6月～2月にかけてBCPを見直し、一部修正した。

イ 令和6年度 市町社協BCP策定支援研修会（オンライン）

令和7年1月17日 職員 10名参加

ウ BCPの発動

事 故 名	福祉会館高圧ケーブルの地絡事故による全館停電
事故発生日	令和6年11月17日 1:30頃
発動日時	令和6年11月18日 8:15
発動基準	福祉会館に甚大な被害が発生したときに該当するため ・電気設備の全停止を主因とする水道、ガス、電気の供給停止による施設運営、衛生設備、事務事業が維持できない（電話、ネットワーク、照明、トイレ、空調、ボイラー等浴槽設備、機械警備）
ライフライン設備の代用	①いずみの郷連絡通路のコンセントからのドラムリレーによる電源確保 ⇒光ケーブル回線・電話、インターネット設備・業務用・貸館用ネットワーク・投光器用 ②いずみの郷からの避難所用バッテリー2台 ⇒3階事務室内レーザープリンター、パソコン用電源 ③ニコニコ水力からバッテリー2台⇒勤怠用パソコン用電源 ④いずみの郷から投光器2台⇒3階事務所の照明用 ⑤いずみの郷の水道・トイレを職員用として利用
BCP 内容	【福祉会館班】 新S 停止した施設ライフラインの確認・応急対応に関すること 新A いずみの郷施設との連携・情報共有に関すること 新A 所管課との情報共有、施設状況の報告に関すること A 各種契約事務、修繕等に関すること B 福祉会館施設窓口業務、日報等に関すること C 福祉会館における健康相談業務に関すること 【ボランティア班】 B シニアクラブに関すること ※11/21 グランドゴルフ大会準備⇒役員による準備 その他必要に応じて部門間で応援対応を行っていただいた。 【その他の対応】

	・令和6年度財政援助団体監査を福祉会館第2会議室からいずみの郷3階旧食堂にて実施 ・福祉会館にて開催予定であった民生委員定例会、部会をいずみの郷にて開催した。 ・3階事務室勤務の職員の一部をいずみの郷1階事務室等へ分散して職場環境を整えた。
復旧日時	令和6年11月18日 18:45 ライフラインを本来の電源に復旧
解除日時	令和6年11月19日 9:30

【事業の成果と課題】

- ・会員数について、前年比、普通会员212口減、特別会員6口増 計206口の減となった。
引き続き、住民の皆様からお寄せいただいた会費が効果的に活用されていることを広報やチラシ、SNSを通して周知し、会費に対する十分な理解が得られるよう啓発に努めていきたい。
 - ・財務分析について、介護事業の収益減が赤字の主因と判明したことから、指定認知症対応型通所介護事業を廃止した。残存している介護事業の収益化、競合他社との差別化や日常生活の導線上に社協がある安心感を軸とした社協らしいサービスの見直しが急務となっている。
 - ・BCPの運用について、福祉会館停電時に初めて発動し、代替電源確保や施設間連携で業務継続することができた。他の災害シナリオへの備えが課題となるため、引き続き訓練や見直しを図っていきたい。
 - ・苦情解決窓口設置事業について、当期の苦情、要望件数は1件であった。今期発生した苦情は突発的に発生した事故後の施設対応の事案であり、施設管理に関わる表示やその際の職員の緊急的な対応が求められたものである。窓口の認知度向上や利用者への積極的な情報提供が必要となっているなかで社会福祉協議会が管理する公共施設として、管理に関わる職員の意識向上を常に図りつつ、安全管理対策を徹底していくとともに引き続き、適正な福祉サービスの提供ときめ細かな意見、苦情、要望への対応に努めていきたい。
- 今後の方向性として、会員拡充のための広報強化と地域連携の深化、介護事業の収益改善に向けた戦略的見直し、BCPの災害対応として定期的な訓練の実施と見直しを図ることが求められている。

令和6年度 研修会等参加状況

長泉町社会福祉協議会事務局

◎法人運営事業

日 時	内 容	参加者
5月30日	令和6年度市町社会福祉協議会事務局長会議	事務局 長
7月10日	静岡県社会福祉協議会被災者中心の支援研修	事務局 長
8月1日～	令和6年度市町社会福祉協議会会計実務研修会【WEB】	職員 3 名
8月1日	令和6年度市町社会福祉協議会ミドルマネジメント研修会	職員 1 名
10月11日	令和6年度住民主体の地域づくりセミナー	職員 2 名
10月28日	令和6年度静岡県健康福祉大会	職員 2 名
11月20日	令和6年度県社協総務部会全体会	職員 3 名
11月14日～15日	セルフケア研修	事務局 長 職員 38 名
11月21日	長泉町災害ボランティアセンター運営内部研修	事務局 長 職員 15 名
12月5日	令和6年度東部ブロック市町社協連絡会職員研修会	職員 2 名
12月25日	災害ボランティアセンター災害ソーシャルワーク	事務局 長 職員 10 名
1月17日	令和6年度 市町社協BCP策定支援研修会	事務局 長 職員 9 名
1月18日	令和6年度2市2町災害ボランティア研修会	事務局 長 職員 11 名
1月27日	令和6年度市町社会福祉協議会会長等役員セミナー	会長、事務局 長
2月17日～3月7日	令和6年度社会福祉法人法人指導監督職員研修（動画視聴）	事務局 長 職員 1 名
2月17日	令和6年度社会福祉法人の「地域における公益的な取組」実践事例報告会	事務局 長
2月20日	災害ボランティアセンター研修	事務局 長 職員 17 名
3月26日	産業医による健康講演会	事務局 長 職員 21 名

◎地域福祉事業

日 時	内 容	参加者
4月12日	社会福祉協議会相談支援事業従事者研修 初任者編	職員 1 名
5月24日	ボランティア・福祉教育担当新任職員研修	職員 1 名
7月29日	令和6年度被災住宅応急復旧研修会	職員 1 名
8月2日	生活支援コーディネーター養成研修【WEB】	職員 1 名
8月22日	令和6年度 静岡県地域福祉教育推進セミナー【WEB】	職員 1 名
10月3日～4日	長泉町民生委員・児童委員協議会全体訪問研修 同行	職員 1 名

12月17日	令和6年度コミュニティワーク研修・地域アセスメント研修	職 員 1 名
12月20日	令和6年度SCスキルアップ研修	職 員 1 名
2月12日	令和6年度リエイブルメント研修会	職 員 3 名
2月21日	令和6年度コミュニティワーク研修・地域アセスメント研修	職 員 1 名
2月25日	令和6年度静岡県個別避難計画取組報告会	職 員 1 名
2月28日	令和6年度ボランティアセンターあり方検討委員会	職 員 1 名

◎総合相談事業

日 時	内 容	参加者
5月13日	令和6年度日常生活自立支援事業 新任専門員研修	職 員 1 名
5月15日	成年後見制度市町申立に係る実務研修【基礎編】	職 員 1 名
5月23日	静岡県東部の食のセーフティネットを考える会	職 員 3 名
5月24日	生活困窮者の暮らしを一緒に考える	職 員 1 名
5月28日	日常生活自立支援事業業務マニュアルに関する研修	職 員 3 名
5月31日	令和6年度 市町社会福祉協議会 生活福祉資金貸付担当者研修会	職 員 1 名
6月3日	令和6年度 社会福祉協議会新任職員研修 1 日目	職 員 1 名
6月11日	長泉町介護支援専門員研修会	職 員 1 名
6月21日	成年後見制度市町長申立てに係る実務研修【実務編】	職 員 1 名
6月28日	社会福祉協議会相談支援事業従事者研修 管理的職員編	職 員 1 名
7月23日	孤独・孤立対策推進シンポジウム	職 員 1 名
7月29日	令和6年度 社会福祉協議会新任職員研修 2 日目	職 員 1 名
8月1日	日常生活自立支援事業におけるKAERU導入社協の意見交換会	職 員 3 名
8月22日	三島市成年後見制度啓発講演会	職 員 1 名
9月17日	精神疾患のある方への関わり方に迷ったら学んでみる講座	職 員 1 名
9月24日	令和6年度 静岡県成年後見制度利用促進協議会	職 員 1 名
10月4日	主任会議支援専門員更新研修（令和6年12月24日まで全9回）	職 員 1 名
1月21日	令和6年度静岡州市町社協 重層的支援体制整備事業実施のための情報交換会	職 員 1 名
2月10日	ふじのくに孤独・孤立対策 プラットフォーム 地域連携 ワークショップ	職 員 1 名
2月12日	支援ツール活用セミナー	職 員 1 名
2月13日	家事関係機関との連絡協議会	職 員 1 名

2月28日	第3回社協職員オンラインサロン	職 員	1	名
3月4日	福祉職員のためのわかりやすい成年後見制度研修	職 員	1	名
3月7日	令和6年度権利擁護支援シンポジウム	職 員	1	名
3月11日	令和6年度ひきこもり支援従事者研修会	職 員	1	名
3月13日	アウトリーチによる伴走支援	職 員	1	名

◎福祉会館事業

日 時	内 容	参加者
8月6日	高齢者向けeスポーツ体験教室の視察（島田市）	事 務 局 長 職 員 2 名
3月13日	令和6年度シニアeスポーツシンポジウム静岡	職 員 2 名

◎居宅介護支援事業

日 時	内 容	参加者
4月22日	適切なケアマネジメント多職種との融合【WEB】	職 員 3 名
5月8日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 役員会	職 員 1 名
5月14日	ステップアップの会（さつき園）	職 員 2 名
5月16日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 総会研修会	職 員 3 名
5月21日	長泉町介護支援専門員研修 SVの理解と事例検討実践（5/12、6/11、7/12）	職 員 3 名
5月22日	三島総合病院 地域包括ケア推進研修会	職 員 1 名
5月22日	希望のわだち長久保 運営推進会議（5/22、7/30、9/24）	職 員 1 名
6月13日	モッコクの会	職 員 3 名
7月9日	ステップアップの会（さつき園）	職 員 3 名
7月10日	長泉町介護支援専門員連絡協議会防災部会	職 員 1 名
7月10日	高齢者住まいの種類と選び方 セミナー	職 員 3 名
7月18日	岡村記念病院 勉強会	職 員 3 名
7月25日	長泉町生活支援体制整備事業について	職 員 3 名
7月26日	長泉町介護・障がいとの座談会（長泉町障がい者自立支援協議会）	職 員 3 名
8月8日	長泉町介護支援専門員連絡協議会 研修	職 員 3 名
8月8日	職員と取り組む「長泉社協の未来設計」キックオフ会	職 員 1 名
8月22日	介護支援専門員更新研修【WEB】（8/22、9/18）	職 員 1 名
8月24日	在宅医療研修（8/24、8/28、9/7）	職 員 1 名
9月9日	ステップアップの会（地域資源）	職 員 1 名
9月13日	人生会議（ACP）ファシリテーター研修	職 員 1 名
9月18日	広報戦略研修	職 員 1 名
9月18日	地域ケア会議（南包括）	職 員 1 名
9月24日	人生会議（ACP）ファシリテーター	職 員 1 名
9月27日	広報戦略実践研修	職 員 1 名

9月30日	SNSの活用についての勉強会	職 員	3	名
10月17日	緩和ケアカンファレンス 事例検討 がんセンター【WEB】	職 員	3	名
10月18日	特定事業所加算対応 障害者・難病患者【WEB】	職 員	2	名
11月16日	医療と介護の上手な付き合い方	職 員	2	名
11月11日	三島総合病院 地域包括ケア推進研修会（11/11、11/18）	職 員	2	名
11月12日	ステップアップの会（さつき園）	職 員	3	名
2月12日	長泉町リエイブルメント研修会	職 員	3	名
2月21日	虐待防止とケアの実践【WEB】	職 員	3	名
3月19日	三島総合病院 地域ケア推進研修会（3/19、3/26）	職 員	2	名

◎指定通所介護事業

日 時	内 容	参加者
8月1日	市町社会福祉協議会 ミドルマネジメント（中間管理職研修）	職 員 1 名
8月8日	職員と取り組む「長泉社協の未来設計」キックオフ会	職 員 1 名
9月18日	広報戦略研修	職 員 1 名
9月27日	広報戦略実践研修	職 員 1 名
11月15日	高齢者虐待の予防と対応	職 員 1 名
12月9日	市町社会福祉協議会介護保険部会全体会	職 員 1 名
12月28日	いずみの郷介護技術研修会	職 員 6 名
2月19日	共生型福祉施設運営者交流会	職 員 1 名

◎指定認知症対応型通所介護事業

日 時	内 容	参加者
8月8日	職員と取り組む「長泉社協の未来設計」キックオフ会	職 員 1 名
9月27日	広報戦略実践研修	職 員 1 名
11月28日	高齢者・障害者施設の為の感染症講座（実践編）	職 員 1 名
12月28日	いずみの郷介護技術研修会	職 員 3 名

◎指定訪問介護事業

日 時	内 容	参加者
7月9日	ステップアップの会（さつき園）	職 員 1 名
8月8日	職員と取り組む「長泉社協の未来設計」キックオフ会	職 員 1 名
11月27日	介護サービス集団指導説明会【WEB】	職 員 2 名
3月18日	長泉町社福法人ヘルパー連絡協議会	職 員 2 名

◎居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

日 時	内 容	参加者
5月14日	長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会（5/14、7/9、9/10）	職 員 1 名
11月12日	長泉町障がい者自立支援協議会事業所部会（11/12、3/11）	職 員 1 名
12月24日	障がいサービス集団指導説明会【WEB】	職 員 2 名
2月13日	長泉町障がい者自立支援協議会全大会	職 員 1 名

◎在宅福祉総合センター事業

日 時	内 容	参加者
7月10日	被災者中心の支援力強化研修	職 員 1 名
7月29日	被災住宅応急復旧研修会	職 員 1 名
8月8日	職員と取り組む「長泉社協の未来設計」キックオフ会	職 員 1 名
8月12日	個別避難計画作成研修【WEB】	職 員 1 名
9月18日	広報戦略研修	職 員 1 名
9月27日	広報戦略実践研修	職 員 1 名
10月4日	ハラスメント講習会【WEB】	職 員 1 名
11月14日	防災講習会	職 員 2 名
11月20日	県社協総務部会全体会	職 員 1 名
11月25日	市町社協ボランティア担当者会議	職 員 1 名
12月5日	東部ブロック市町社協連絡会広報研修会	職 員 1 名

1－2 地域福祉活動事業

1 地域福祉活動計画における4つの施策の方向の推進と調査研究事業

(1) 施策の方向1「ひとりひとり〈福祉の心を育てる〉」

(1)－1 地域共生の意識を深める取り組みの推進

① 福祉教育実践校事業

児童及び生徒の社会福祉への理解と関心を高め、地域社会を巻き込んだ地域福祉教育を目指し、福祉教育実践校活動を推進した。

ア 実践校対象：6校（町内小学校、町内中学校、知徳高等学校）

イ 活動費助成実績：5校 1校あたり上限100,000円

(1) 長泉町立北中学校

今年度から福祉教育の在り方を見直し、児童・生徒や地域への関心を高められるよう地域住民とともにあらゆる福祉をテーマに共同実践を行っている。障がい者や健常者に分けず地域の一員として参加し支え合えるよう、ボランティア活動について学ぶ機会とした。

1年生

日時	内容	講師・協力
8月29日(金) 4時限目	福祉全般について	社会福祉協議会
8月29日(金) 5時限目	民生委員について	民生委員・児童委員協議会
10月28日(月) 6時限目	福祉課題解について	やまびこ・チームつながり
11月11日(月) 6時限目	ユニバーサルデザイン キャリア教育	社会福祉施設職員 (ながいずみーる)
11月18日(月) 5時限目	聴覚障がいについて	身体障害者福祉会
11月18日(月) 6時限目	身体障がいについて	身体障害者福祉会
11月25日(月) 6時限目	人権教育	地域包括支援センター
12月16日(月) 5時限目	簡易トイレやダンボール ベッド災害時の福祉	静岡 DWAT
12月23日(月) 5時限目	避難所運営ゲーム	地域活動ボランティア 災害に係る福祉団体
12月23日(月) 6時限目	珠州市と中継	地域活動ボランティア



2 年生

日時	内容	講師・協力
1 2 月 9 日 (月) 5 時 限目	2 年生副読本活用事業	社会福祉協議会

(2)－1 長泉町立長泉小学校 3 年生

令和 3 年度「長泉町の地域福祉・こころの健康に関するアンケート調査」より、長泉町内では近所住民同士の関わり合いが希薄化していることが明らかになった。人と人のつながりがなぜ必要か、ともに支え合う地域づくりをすすめるために何が必要か、長泉小学校の 3 年生の児童とボランティア活動者が一緒にグループワークで話し合った。授業の最後には、つながりや助けあい大切さや楽しさを長泉町の皆さんに伝えるメッセージを作成し、ウェルピア長泉内に掲示した。

日時	内容	講師・協力
1 0 月 2 2 日 (火) 各クラスで授業を実施	ふくしってなんだろう？	社会福祉協議会
1 1 月 1 2 日 (火) 各クラスで授業を実施	もしものときに私たちになにができるかな？	社会福祉協議会 ボランティア活動者 1 4 名
1 1 月 2 6 日 (火) 各クラスで授業を実施	つながり、助けあいについて考えよう	社会福祉協議会 ボランティア活動者 1 4 名



授業を受けて終わりではなく、地域共生社会の意識を高める実践の機会として、会場をいずみの郷に移し、子どもたちとボランティア、長泉町身体障害者福祉会とともにボランティア体験とボッチャを通じた交流会を開催した。この交流会には保護者も含めて 4 2 名が集った。ボランティア体験では、民生委員・児童委員が毎月地域を訪問しながら配布している「つながる地域福祉メッセージ」を記入した。

日時	内容	協力
1 2 月 2 6 日 (木)	長泉小学校 3 年生 ふくし De お楽しみ会 参加者 4 2 名	長泉町身体障害者福祉会 3 名 住民ボランティア 5 名



(2)－2 長泉町立長泉小学校 6 年生

長泉小学校 6 年生の家庭科の授業で「地域とのかかわり」について学びたいとの相談を受け、ボランティア活動者と生徒と一緒に助けあいゲームを行った。このゲームでは「支援をしてあげる」、「支援をしてもらう」という受け手と支え手の関係を超えて、それぞれの立場でできること、活躍できることを見つけ、助け合う社会を体感することを目指した。ゲームを通じて、「小学 6 年生でもできることがある。」、「地域の人と関わることが楽しかった。」との気づきが得られた。さらに授業後には、自分から近所の人に挨拶をするなどのチャレンジが生まれ、その中から「挨拶を返してくれてうれしかった」、「ごみ出しに困っている高齢者と出会った。」などの発見も生まれた。



② 夏休み中高生福祉体験学習事業

今年度から、長泉町ボランティアセンターの運営規程が新しくなり、改めて機能の啓発をするため、従来の中学校を通して募集する福祉体験学習ではなく、夏休みを利用して町内でボランティア活動を希望する中高生を、社協だよりで募集した。

- ・活動者：高校生 5 人
- ・活動先：「やまびこ移動支援活動」での買い物支援・移動支援 2 人
「ながいずみ花いっぱい倶楽部」での花の植え替え 2 人
「ぼうしゃ食堂」での調理補助や子どもとの交流 1 人



③ 福祉健康まつり開催事業

福祉・健康・介護に関する事業の啓発と施設の紹介を行い、地域ぐるみの福祉意識の高揚、健康づくりの推進、介護保険制度の普及促進を図るため 10 月 20 日(日)に福祉健康まつりを開催した。開催実行委員会や団体説明会などを行い、準備を進めた。例年行っている大抽選会から、スタンプラリー抽選会に変更し、出店団体と来場者のさらなる交流促進を目指した。



(1)－2 福祉を担う人材の発掘・育成

① 社会福祉法人との連携

地域生活課題が拡大しかつ複雑化・複合化している中、社協と社会福祉法人・福祉施設の連携・協働によって、これら地域生活課題の解決を図り、ともに生きる地域社会づくりを進めている。本会では、町内8法人による連絡会（ながいずみーる）を設置し、人材確保や防災など、共通のテーマで地域の福祉基盤の底上げを行い、地域における公益的な取り組みを進めた。

・第1回社会福祉法人連絡会ながいずみーる

日時：7月9日(火)13:30～15:30

内容：福祉保険課から重層的支援体制整備事業の説明を受け、社会福祉法人連絡の協力体制について共有した。また、福祉人材確保に向けて福祉教育を通し、生徒に福祉を身近に感じる魅力を伝える授業の打合せを行った。

・第2回社会福祉法人連絡会ながいずみーる

日時：9月20日(金)13:30～15:30

内容：児童、障がい、高齢それぞれの分野の行政計画を共有し、課題の発見に向けた意見交換を実施した。

参加：町内社会福祉法人、福祉保険課、こども未来課、長寿介護課

・第3回社会福祉法人連絡会ながいずみーる

日時：1月21日(火)11:30～15:00

内容：社会福祉法人のネットワーク化による包括的な支援体制の意義を確認し災害を見据えたネットワークの充実とネットワーク間の広域連携について板橋区社会福祉法人施設等連絡会と交流会を開催した。

・第4回社会福祉法人連絡会ながいずみーる

日時：3月4日(火)13:30～15:00

内容：活動報告及び次年度計画について

参加：町内社会福祉法人



② 傾聴講座

地域福祉活動に役立てるため、傾聴のスキルを学ぶ講座を開催した。

日 時	内 容	参加
令和7年3月8日（土） 10:00～11:45	町内在住者を講師に迎え、苦しみを抱える人と接するときの対応について	7人

③ 外出サポーター養成講座

移動に支障がある方を支援するためのスキルを学ぶ講座を開催した。

日 時	内 容	参加
令和7年3月18日（火） 14:00～14:45	・シルバーカーと歩行器の違いについての講話 ・シルバーカーと歩行器を使用してみる	8名



傾聴講座



外出サポーター養成講座



(1)－3 福祉に関する情報提供の充実

① 福祉情報発信力の強化

読者が読みやすく、告知効果の高い広報誌（社協だより）づくりに努め、情報発信力の強化を図った。

社協広報誌『社協だより』 発行部数 17,730 部

5月1日号（No.284）、7月1日号（No.285）、10月1日号（No.286）

1月1日号（No.287）、3月1日号（No.288）

② ホームページ等運営事業

社会福祉法人として公表対象となる書類をホームページ上で公開するほか、各養成講座の開催や町内の福祉活動情報を発信し、福祉活動への理解と積極的な参加を促進した。また、SNS（Facebook、Instagram、LINE）を開設し、直近の福祉情報など発信した。



広報戦略の一環としてSNSを活用した情報発信を強化することを目的に職員研修を行った。SNSでの情報発信について職員間での意識醸成や共通認識を図り、コンプライアンス等の知識及び技術を高め、社協事業の見える化を目的に内部職員研修を実施した。

第1回基礎知識編 令和6年9月18日(水) 10:00～11:00
第2回SNS投稿編 令和6年9月27日(金) 10:00～11:00
株式会社イワサキ経営 映像ディレクター 三間 希子氏

③ 視覚障がい者情報提供事業

目の不自由な方に対する公共的な情報の提供を行うためボランティアの協力を得て声の広報発行事業による情報提供事業を実施した。

また、長泉町役場情報戦略室と話し合い、録音をカセットテープからCDへ切り替えるため利用者が聴くことができる録音方法を試行し来年度に備えた。

声の広報発行事業

音声訳ボランティアによる「声の広報」情報提供事業

- ・『広報ながいずみ』 12回発行
- ・『議会だより』 4回発行
- ・『社協だより』 5回発行

(2) 施策の方向2「地域〈ともに支え合う地域づくり〉」

(2)－1 となり近所で支え合う体制づくりの推進

① 小地域福祉活動推進事業

地域住民が地域の福祉課題の発見や解決を主体的に行うことを目標に、区単位の地域支援を行った。

ア 活動区 24区

イ 活動費の助成

- ・年額 50,000円/区を上限に必要額

② 小地域福祉活動説明会、研修会

誰もが安心して生きがいのもてる生活が送れる地域にしていくために、身近な生活の場で起こる課題を住民が力を合わせ、地域社会づくりを目指すことを目的に区単位での小地域福祉活動を推進している。また小地域福祉活動の推進にあたり希望区に対し助成し、小地域福祉活動の目標である地域の要支援者に身近な区において誰もが安心して暮らせるよう地区活動の情報交換の場として開催した。

日時：令和6年7月19日(金) 13:00～16:00

内容：基調講演、地区活動の紹介、小学校圏域ごと情報交換会

講師：基調講演 講師 災害対応 NPO MFP 代表 松山 文紀 氏

参加：40人



③ サロン活動の支援

ア 用具の貸出

区公民館等で介護予防、認知症予防、閉じこもり解消、交流等の活動（レクリエーションや簡単な体操等）に用具の貸出しを実施

イ 講師派遣

サロン活動のレクリエーション等の講師にシニアクラブ長寿活動推進相談員の協力を得て実施

(2)ー2 地域福祉活動・ボランティア活動の活性化

① ボランティア団体の支援

ボランティア活動を円滑に進めるため、活動の拠点となる福祉団体室、ボランティアルームの貸出しを行うとともにボランティア団体の連絡調整を行った。

※長寿町ボランティア連絡会加入団体（5月1日現在）

- ・団体数 23 団体（前年度比 2 団体減）
- ・会員数 447 人（前年度比 25 人減）

② ボランティア情報提供事業

ボランティア活動への参加促進を図るため広報啓発活動を行っている。

ア 『社協だより』…ボランティア情報

イ ホームページ…ボランティア情報（ボランティアとは・団体紹介）

ウ ボランティア情報館内掲示板…福祉会館いずみの郷連絡通路設置

③ ボランティア活動支援事業

ア ボランティア保険への加入

全社協のボランティア保険へ加入事務手続きを行っている。

- ・加入件数：個人 17 件、団体 9 件
- ・加入者数：205 人

その他、全社協の「福祉サービス総合補償」3件「ボランティア行事用保険」6件の加入事務手続きを行った。

イ 福祉会館会議室等の利用料減免

ボランティア連絡会加入団体に対し、会議室等の利用料減免を行っている。

ウ ボランティアセンター登録団体への活動場所の提供

今年度からボランティアセンター登録を開始、9 団体、個人 2 人が登録した。なお、登録をした個人・団体がボランティア活動をする際、ボランティアルームを無料で利用できる。

④ ボランティア相談事業

ボランティア入門、活動上の相談、支援の依頼等 23 件の相談及び需要調整を行った。

⑤ 関係機関・団体との連携

ア 長寿町ボランティア連絡会事務局

- ・事業等の運営に対する支援（正副会長会議、理事会の開催等）

- ・長泉町ボランティアフェスティバル開催支援（12月7日 参加者 97人）

イ 福祉施設との連携と情報の共有体制の確立

緩和されてきているところもあるが、新型コロナウイルス等感染症予防のため、傾聴ボランティア等の受入休止が続いている。

(2)ー3 住民同士の連携による地域福祉の推進

① 民生委員・児童委員協議会活動との連携

地域福祉活動を推進するため、民生委員・児童委員との情報共有、連携を図るとともに活動費の支援を行っている。

- ・役員会 月1回 ・定例会 月1回
- ・地域ブロック長会議 計2回参加
- ・駿東田方四町民児委員連絡会役員研修 年2回
- ・前期全体訪問研修会「山梨県富士山科学研究所」
- ・町民児協役員研修「生活支援体制整備事業の意義と目的」
- ・後期全体訪問研修会「社会福祉法人名古屋ライトハウス」
- ・全体スキルアップ研修「投資詐欺＜資産形成講座について＞」

② メッセージの配布活動

ひとり暮らし高齢者の孤立や不安を緩和するため、令和2年度に開始したメッセージを届ける活動を民生委員・児童委員協議会と協働し継続した。町内小中学校にもメッセージの活動について説明し、メッセージが寄せられている。

③ 福祉団体への支援

高齢者や戦没者遺族、障がい者等当事者及び家族、又は支援者によって結成された各福祉団体に対し、それぞれの目的達成に向けた活動が円滑に行われるよう、運営費の助成や連絡調整、研修などの支援を行った。

※事務局設置団体

ア シニアクラブ長泉

健康・友愛・奉仕活動を通じて仲間づくり、健康づくりなど生活を豊かにする楽しい活動、地域を豊かにする社会活動を推進する地縁高齢者団体のシニアクラブ長泉の活動を支援している。

i 会務運営支援

- ・総会
- ・三役会、理事会、友愛部会、健康部会、プラスワン委員会
- ・上部団体及び単位クラブ連絡調整

ii 健康・文化活動事業支援

- ・第58回グラウンドゴルフ大会（5/16）
- ・第4回フライングディスク大会（6/20）
- ・健康マージャン大会（8/27）
- ・ながいずみクリーンアップ作戦（9/15～21）
- ・健康ウォーキング事業（参加者合計 483名）
- ・第50回スポーツ大会（9/19）

- ・第 32 回輪投げ大会（10/24）
- ・第 59 回グラウンドゴルフ大会（11/21）
- ・サークル活動への支援（グラウンドゴルフ、長泉音頭&レクダンス、フラダンス、いきいき気功、学び直し教室、健康ボウリング、健康マージャン）
- ・健康ストレッチ教室（前期 4 月～9 月、後期 10 月～3 月）
- iii 友愛活動その他活動支援
 - ・交流研修会「シニア向け交通安全教室・詐欺防止講座」（7/17、8/2、9/11、9/24、10/2、10/8、12/10、12/20）
 - ・広報紙「シニアクラブ長泉だより」の編集発行（9 月号、2 月号）
役員向け広報「シニアクラブ長泉だより」の発行（毎月）
 - ・シニアクラブ長泉ホームページの運用
- イ 長泉町遺族会
会務運営にかかる各種連絡等の補助
- ウ 長泉町手をつなぐ育成会
 - ・会務運営にかかる各種連絡等の補助
 - ・団体活動及び行事補助
- エ 長泉町ボランティア連絡会（⇒参照(2)－ 2）

④ 運営費助成団体一覧

（単位：円）

No.	団体名	助成額	備 考
1	シニアクラブ長泉	750,000	事務局支援
2	長泉町遺族会	720,000	事務局支援
3	長泉町身体障害者福祉会	650,000	
4	長泉町民生委員・児童委員協議会	475,000	
5	長泉町手をつなぐ育成会	300,000	事務局支援
6	長泉町ひとり親会（旧母子寡婦福祉会）	270,000	
7	長泉町ボランティア連絡会	300,000	事務局支援
8	長泉町保護司会	50,000	
9	ながいずみ断酒会	20,000	
合 計		3,535,000	

(2)－ 4 地域における交流・居場所づくりの推進

① ひとり親家庭社会参加事業

親子のふれあいを深め、参加者相互の情報交換や仲間作りの場を設けることと、長泉町ひとり親会の啓発を目的として実施した。令和 6 年度は、ながいずみ観光交流協会の協力をいただき「溶岩で遊ぼう！長泉っておもしろい！」を企画。親子で長泉のジオサイトにふれ、自分達が暮らす町について知り、より好きになってもらえるようなイベントを実施した。

日時	内容	協力
11月17日(日)	「溶岩で遊ぼう！長泉って面白い！」 参加者：8名	ながいずみ観光交流協会



② 長泉町教育推進課とのいずみ教室クリスマス会の共催

長泉町役場教育推進課より、いずみ教室に通う児童・生徒、その保護者を対象としたクリスマス会の開催について相談があり、共催という形で飲み物やお菓子の提供をした。

③ 小地域福祉活動事業（再掲）

生活支援体制整備事業との連携

(3) 施策の方向3「関係機関・体制〈暮らしを支える包括的な体制づくり〉」

(3)－1 多様化する生活状況に対する支援の充実

① ひとり暮らし高齢者交流会事業

ひとり暮らし高齢者を孤立させないために、定期的なサロン活動を通し、参加者同士の交流及び、地域との繋がりを持つ機会を提供している。

また各種ボランティア団体の活躍の場として活用を図っている。

日付	主な内容	参加者数
4/26(金)	地域包括支援センターによる、健康体操、頭の体操	9人
5/29(水)	地域包括支援センターによる、健康体操、頭の体操	7人
6/27(木)	簡単スポーツを楽しむ モルック・ボッチャ	9人
9/27(金)	簡単スポーツを楽しむ e-スポーツ	6人
10/30(水)	脳トレと体操で頭も体も若返ろう	10人
11/27(水)	脳トレと体操で頭も体も若返ろう	6人
12/19(木)	ことふれんど演奏会	8人
1/28(火)	ベルママン演奏会	11人
2/26(水)	いざという時に役立つ防災の話・フラワーアレンジメント	9人
3/27(木)	いざという時に役立つ防災の話・フラワーアレンジメント	10人

※4月から毎月1回福祉会館で実施し7・8月は熱中症のリスクが高いため未実施。地域のサロン活動が活発になってきたので本事業は今年度で終了となる。

② 子どもの居場所運営支援

(1) 「てとて食堂」支援

困りごとがある家庭へ食品配布を行うフードバンク「てとて」が、子どもと親との繋がりを深める場として「てとて食堂」を月1回ボランティアルームで開催しており、運営上の相談や会場提供、物品貸与等の支援を行っている。

(2) 「ぼうしゃ食堂」支援

昨年度から立ち上げに向け相談に対応していたが、今年度から清鉢寺で開始した。運営上の相談や物品提供、チラシ配架等必要な支援を行っている。

(3) 「cocon 家」支援

食堂と駄菓子販売、常設型の『今日も帰りたくなる憩いの場』の提供および、地域の大人が”わくわくチケット”を購入することで子どもに食事提供ができる「子ども食堂」を実施している。運営上の相談対応、情報提供等を行っている。

(4) こぶねカフェ

いずみ教室に通う保護者から、不登校及び行き渋りの子を持つ親の会の立ち上げについて相談を受け、いずみ教室の協力のもと立ち上げの後方支援を行った。不登校・行き渋りのある子の親が抱える同じ苦しみや生きづらさを抱える当事者や経験者が互いを支え合うピアサポート機能を有した情報交換の場となるよう福祉会館内で開催している。※第5回は事務局不在開催

		参加者数
第1回	8月 4日(日) 9:30~12:30	14人
第2回	9月15日(日) 9:30~12:30	11人
第3回	10月27日(日) 13:30~16:00	13人
第4回	12月 1日(日) 14:00~16:00	9人
第6回	2月24日(月・祝) 10:30~12:30	7人
第7回	3月29日(土) 10:00~12:45	10人



③ 子どもの居場所づくり連絡会の結成

令和4~5年に子どもの居場所づくり講座を実施し、子どもの居場所づくりの担い手育成の講座や見学会などを開催してきた。活動を始める方もいたが、講座参加者へのアンケートでは「場所がない」「不安、自信がない」という声が多く、活動に至らない課題が見つかった。本年は関心がある住民が実際に活動を始めるきっかけをつくることを目的に、子どもの居場所づくり連絡会を結成した。

子どもの居場所づくり連絡会では、参加者同士の顔合わせ、情報共有のほか、

令和7年度夏休みの子どもの居場所事業として計画中の「こどもふくしチャレンジ（仮）」の企画、協議を中心に実施。子どもの居場所づくり連絡会メンバーによるオリジナルのイベントが生まれ、令和7年度夏休みの開催に向け、月に1回会議を開いている。

		参加者数
第1回	1月12日(日) 15:00～16:30	8人
第2回	2月8日(土) 19:00～21:00	11人
第3回	3月30日(日) 10:00～11:30	13人

④ 子どもの居場所づくり講演会の開催

子どもの居場所づくりがより活発になることを目指し講演会を開催した。子どもの居場所の種類やそれぞれの機能について学び、活動や協力について具体的なイメージを描けるように、全国的に先進的な活動を学んだ。

日時：令和7年3月22日(土) 10:00～12:00

講師：認定NPO法人豊島子ども WAKUWAKU ネットワーク理事長 栗林知絵子氏
参加：33人



(3)ー3 地域福祉を推進する社会福祉協議会の機能強化

① 外出状況調査の実施

民生委員・児童委員協議会の協力を得て、見守り活動の中で外出に困っていると思われる方を対象に外出に関するアンケート調査を実施した。アンケートの結果は、生活支援体制整備事業の協議体でニーズの把握、課題抽出に活用している。

② 地域共生社会推進委員会の開催

地域福祉事業の推進にあたり、地域住民等の意思を事業に反映させ、地域の実情に応じた活動が住民主体で展開される地域共生社会の実現を図るため、地域共生社会推進委員会を開催している。

第1回

日時：7月2日(火) 10:00～12:00

場所：福祉会館4階第1会議室

内容：小地域福祉活動推進事業、長泉町の福祉的問題点について

第2回

日時：9月10日(火) 13:30～15:30

場所：福祉会館2階研修室

内容：社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の進捗状況、協働型災害ボランティアセンターについて

第3回

日時：12月16日（月）13：30～15：00

場所：福祉会館4階 第1会議室

内容：緊急通報システム福祉電話設置事業、社協だよりについて

第4回

日時：3月12日（水）13：30～15：30

場所：福祉会館2階研修室

内容：社会福祉法人等ネットワーク化による協働推進事業の進捗状況、協働型災害ボランティアセンターについて

(3)ー4 より良質な福祉サービス提供の推進

① 緊急通報システム「福祉電話」設置事業

長泉町に居住するおおむね65歳以上でひとり暮らし高齢者を対象に、福祉電話の設置支援、利用料の助成を行い、緊急時の通報体制の確立を図った。

合計助成件数	助成額	途中助成	合計
73（前期）	134,640 円	5,940 円	140,580 円
68（後期）	128,370 円	1,650 円	130,020 円
合計	263,010 円	7,590 円	270,600 円

② 車椅子貸出事業

病院や施設からの一時外泊等、介護保険制度で非該当となる事例に対し介護者の負担軽減を図るため車椅子を貸出した。また、学校等で福祉教育の教材として使用する場合などに無料で車椅子を貸出した。

なお、汚れの目立つ車いすを5台業者に依頼して洗浄した。

- ・貸出期間、自己負担 1ヶ月480円（3ヶ月を限度とする）
- ・有料貸出件数 37件／教材用貸出件数（無料）15件

(4) 施策の方向4「環境〈安心・安全な環境整備〉」

(4)ー2 防災・減災、感染症対策の推進

① 災害ボランティアネットワーク長泉との連携

災害ボランティア支援本部を立ち上げる際に連携できるよう、研修計画などを相談しながら行った。県主催の会議等に会員とともに社協職員も参加した。

② 災害ボランティアセンター運営職員研修

近年、ICTを活用した災害ボランティアセンター運営が主流になり、地震及び水害など災害の種類や規模により災害ボランティアセンターに求められる役割や機能が多様化している。沼津市での水害の対応や石川県能登町での地震災害に応じた災害ボランティアセンターについて共有し、協働型災害ボランティアセンターを関係機関や地域住民とともに運営することができるよう職員研修を実施している。

日時	内容
8月25日(日)	災害ボランティアセンター運営について
11月21日(木)	技術系ボランティアの活動について
12月25日(水)	福祉専門職による初動ローラー及び現地調査について
1月14日(火)	珠洲市災害ボランティアセンターについて
2月20日(木)	長泉町災害ボランティアセンター立ち上げ訓練について

③ 災害時近隣市町連携を目的とした災害ボランティアセンター運営訓練

沼津市、裾野市、清水町、長泉町2市2町合同で、有識者による講演及びICTを活用した災害ボランティアセンター運営訓練を実施することを目的に、各市町災害担当者と打合せを行った。近隣市町では毎年水害により災害ボランティアセンターを設置していることから初動の応援体制目指し、近隣市町社協間の災害時支援協定を見据えた平時からの周辺社協との関係の構築を図っており、令和7年1月に合同訓練を実施した。

実施日	内容	参加者数
5月30日(木)	各社協訓練情報交換、プログラム素案検討	8人
9月4日(水)	有識者の確定、プログラム内容の決定	8人
10月2日(水)	広域合同訓練の意義及び協働型災害ボランティアセンター運営について	12人
11月11日(水)	午前の部 午後の部 内容の確定	8人
11月18日(水)	案内チラシ及び周知について	7人
12月9日(水)	ICT(キントーン)訓練について	7人
1月18日(土)	午前の部 ・災害ボランティアセンター班レクチャー ・ICTを活用したセンター運営体験 午後の部 珠洲市災害ボランティアセンター運営支援者による基調講演	131人

④ 災害ボランティアセンターパンフレット活用事業（出前講座）

災害ボランティアセンターを運営するための担い手の確保及び円滑なニーズ把握等を行えるよう作成した災害ボランティアセンターのパンフレット等を有効に活用するための出前講座を開催した。

実施日	対象	参加者数
6月17日(月)	民生委員・児童委員協議会地域福祉部会	22人
7月22日(月)	民生委員・児童委員協議会高齢者福祉部会	22人
7月31日(水)	身体障害者福祉会	32人
8月30日(金)	居宅介護支援専門員もっこの会	17人
10月4日(金)	駅上区サロンなごみ	13人
10月6日(月)	三軒家区役員・班長防災講座	7人

⑤ 災害ボランティアセンター運営への支援

静岡県・市町社会福祉協議会における災害時相互支援協定及び関東甲信越静岡県ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定に基づき、静岡県社会福祉協議会からの要請を受け、被災地の災害ボランティアセンターへ職員を派遣した。

被災地では、災害ボランティアセンター立ち上げに係る初動支援や災害ボランティアセンター運営支援、支え合いセンターとの連携や福祉ニーズの調整などを行った。

派遣先	期間	人数
沼津市災害ボランティアセンター	6月21日から23日計3日間	1人
能登町災害ボランティアセンター (石川県)	7月10日から16日計7日間	1人
珠洲市災害ボランティアセンター (石川県)	11月2日から8日計7日間	1人



沼津市内ローラー



能登町センター運営



珠洲市内現地調査

⑥ 被災者支援コーディネーター育成研修について

災害時に被災者の多様な要望に対し、様々な機関が関与し被災者に寄り添った支援を行う必要があることから、社協や行政と連携し被災者支援を行う地域の人材を育成するもので静岡県が主催となり全10回開催され、当町からは地域防災課に相談のうえで社協からの推薦により1名を選出した。

災害ボランティアセンターの運営及び生活再建に係る被災者支援事業などの災害時の全体像を理解することを目的に、選出市町の行政職員及び社協職員はオブザーバーとして参加した。

⑦ 協働型災害ボランティアセンター運営訓練

関係団体や地域の関係者が連携・協働して被災者支援を展開していくための備えとして、協働型災害ボランティアセンター運営訓練を行った。

日時：3月2日（日）9：30～16：00

内容：災害ボランティアセンターの役割について学び、受講者で各班に分かれ（受付、オリエンテーション、マッチング、資機材・送出し）運営模擬訓練を行った。また、昼食を兼ね長泉町赤十字奉仕団による炊き出し訓練を行った。災害ボランティアネットワーク長泉役員と開催までに打合せを重ね、準備や当日の運営に協力を得た。

参加：受講者 34 人、役職員 16 人



協働型災害ボランティアセンターの運営訓練の様子

⑧ 11月2日の豪雨に対する支援活動

災害ボランティアセンターの立ち上げはしなかったが、社協で把握した3件の福祉的な支援を必要とする被災者に対し対応した。

うち、1件は床下乾燥作業にボランティア団体「しぞ〜かまめっ隊」の協力を得て対応した。

また、役場関係部署や、社協福祉総合相談部門とも連携し、支援にあたった。

⑨ 災害ボランティアバス

福祉教育実践校事業に取り組む知徳高等学校から探求学習で災害ボランティアについて学ぶ2年生からの相談から珠洲市社会福祉協議会内珠洲市ボランティアセンターと連携し災害ボランティア活動を実施した。

日 時	内 容	参加者
1月24日(金)から 1月26日(日) 3日間	1月の地震後9月の豪雨で新たに被災をした浸水被害からの復旧作業及び被災された方への傾聴	高校生 8人 一 般 7人 協力者 3人 事務局 2人



(4)－3 防犯対策の充実

① 新入学児童祝品贈呈事業

小学校新入学児童へ黄色い帽子の贈呈を行い、児童への交通安全を祈念するとともに、交通事故被害を未然に防ぐため、地域での見守り支援の促進を図った。

【事業の成果と課題】

ボランティアセンターに関する規程の見直しを行い、ボランティアセンターの

機能強化を目指している。ボランティアセンターとして相談機能や情報発信、ボランティア体験、福祉教育の充実を図り支え合いの意識を醸成している。学生や地域住民の社会への参加支援や地域のつながりについて、地域住民や関係機関、福祉団体と連携しネットワークを構築していく。

ボランティアセンターへの登録について積極的に周知を行い、災害時の連携を見据えた平時の地域づくりを推進していく。

今後町内で発生する災害に備え、災害ボランティアコーディネーターをはじめ町内の災害関連の団体、災害協定を結んだ商工会や行政などと協働型災害ボランティアセンター運営の確立に向け協働型災害ボランティアセンターの運営訓練や付随する研修等の開催を通し町民の被災者支援に対する士気を高めていきたい。

1－3 福祉総合相談事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
 基本施策 1 多様化する生活状況に対する支援の充実

1 福祉総合相談事業

(1) 福祉総合相談事業

町民の身近な相談機関として、福祉に関することをはじめ、様々な悩みや心配事などの相談に応じ、福祉ニーズとサービスを結ぶ支援体制として、民生委員・児童委員や他機関との連携を図りながら、総合的に相談業務を行った。また、相談専用電話を設置し、匿名も含め電話での相談に応じた。

- ① 開設時間 月曜日～金曜日 午前 8 時 15 分～午後 5 時
- ② 開設場所 福祉会館 3 階相談室
- ③ 相談件数 21 件
- ④ 相談人数 13 人（男性 5 人、女性 8 人）
- ⑤ 相談方法 21 件（来所 7 件、電話 14 件、訪問 0 件）

相 談 内 容 ・ 処 理 状 況					
区 分	解決	再来	民生委員	機関紹介	計
生 計	1	2	2	1	6
人 権 ・ 法 律	6	4		1	11
そ の 他	1	1		2	4
合 計	8	7	2	4	21

(2) 生活困窮者の社会参加支援

昨年度までは福祉総合相談事業において支援を実施していたが、今年度から重層的支援体制整備事業（参加支援事業）において支援を実施した。

2 日常生活自立支援事業

本事業は、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等のうち、判断能力が不十分な人が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行うものである。

平成 24 年度から、相談受付や利用契約の締結と利用者支援を行っている。

- (1) 職員配置：専門員 3 人(兼務)、生活支援員 3 人※令和 7 年 3 月末現在

(2) 利用者数

区 分	令和 6 年度			
	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	その他
継 続	1	2	1	3
新 規	0	0	1	1
解 約	0	0	0	0
小 計	1	2	2	4
令和 7 年 3 月末利用者数	9 人（うち生活保護受給者：4 人）			
増減内訳	新規契約 2 解約 0			

(3) 相談援助件数

(単位：件)

内 容	本事業の利用に関するもの				その他	合 計
対象者 事項	認知症 高齢者	知的 障害者	精神 障害者	そ の 他		
問合せ件数	5	1	1	1	0	8
初回相談件数	5	1	1	1		8
相談援助件数	79	52	45	207		383
合 計	89	54	47	209	0	399

※制度に関する問合せ、制度利用に関する相談を受けるが、利用に至らないケース、利用要件を満たさないケースが数件あり。

3 生活困窮者自立支援法に基づく事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

平成 27 年度から静岡県の委託を受け、生活困窮者自立相談支援事業を実施した。

【支援実績】

- ① 相談件数：825 件
- ② 相談実人数：128 人（新規相談者：73 人、継続相談者：55 人）
うち、本人未特定 5 人
- ③ プラン策定前支援終了件数：41 件
- ④ プラン確認実人数（再プランを含む件数）：21 人
- ⑤ プラン評価し支援終了者：9 人
- ⑥ 支援調整会議：毎月開催
- ⑦ 専門職相談件数：法律に関すること 8 件

【具体的な支援内容】

収支状況の把握、日常生活に係る相談、 寄付された食料品の活用、
福祉人材マッチング事業を利用した就労の場の提供

(2) 家計改善支援事業

令和4年度から本会にて実施することになり支援を実施している。

【支援実績】

① 新規受付件数：7件、昨年度からの継続件数：6件

② 相談延べ回数：101件

③ プラン作成件数：5件

【具体的な支援内容】

家計の見える化、債務整理支援、日常生活に係る相談、 寄付された
食料品の活用

(3) 一時生活支援事業

住居のない生活困窮者に対して、一定期間内に限り衣食住の提供を行
う。令和元年度から静岡県の委託を受けており支援を実施した。

【支援実績】

① 新規受付件数：1件（相談のみ）

② 宿泊日数：0日

【具体的な支援内容】

新しい住まいの確保、新しい就業先の紹介

(4) 住居確保給付金

離職等により経済的に困窮し住居を喪失した又は住居を喪失するおそ
れがある方に、一定期間家賃相当額を給付する制度利用支援を実施した。

【支援実績】

① 利用実績：6件

(5) ふじのくに型学びの心育成支援事業（学習支援事業）

今年度も福祉会館での実施となった。副次的効果として、関係者等と顔
の見える関係を築くことができた。また利用世帯には食糧支援を行った。

(6) その他

① 「フードバンクふじのくに」のフードドライブへの協力

・夏季フードドライブ（8月1日～8月31日）寄贈食品重量：10キロ

・冬季フードドライブ（1月4日～1月31日）寄贈食品重量：8キロ

・フードバンク活用実績 10件

② ふじのくに生活困窮者自立支援基金利用

・支援実績 10 件（実人数 8 名：就労支度金給付事業）

4 生活福祉資金貸付事業

静岡県社会福祉協議会が実施主体となり、低所得世帯に対する生活福祉資金の貸付の窓口として、長泉町における相談受付、償還事務を行った。

【貸付実績】 1 件

	申請件数	貸付決定件数	貸付総額(円)
福祉資金 (就学支度費)	1	1	500,000
合 計	1	1	500,000

5 重層的支援体制整備事業

介護、障がい、子育て、生活困窮の分野に分かれていた既存の相談支援や地域づくり支援の取組みを活かし、分野別の支援体制では対応しきれないような「複雑化・複合化した支援ニーズ」に対応する包括的な支援体制を構築するため、事業の一部を受託する。

(1) 参加支援事業

引きこもり等の狭間のニーズを抱えた人々の居場所の設立・運営、地域の社会や支援メニューとのマッチング、その後のフォローアップや新たな社会資源の創出に取り組む支援を実施した。

【支援実績】 支援人数：延べ人数 11 件、実人数 7 件
(内プラン作成件数：1 件)

時期	活動内容	参加人数
R6.7 月	社会福祉協議会主催事業（市民後見人啓発講演会）の運営 (駐車場案内、会場誘導)	3 名
R6.9 月	長泉町長寿介護課、地域包括支援センター主催事業（オレンジランプ上映会）の運営 (駐車場案内、会場誘導、アンケート集計)	4 名
R6.10 月	社会福祉協議会主催事業（福祉健康祭り）の運営 (会場誘導、ブース運営)	3 名
R6.12 月	社会福祉協議会後援事業（ボランティアフェスティバル） の運営（会場誘導）	1 名

(2) アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

支援者と直接かつ継続的に関わるための信頼関係の構築や支援者との繋がり作りに向けた支援、対象者発見のための支援関係機関とのネットワークや地域住民との繋がりを構築するとともに、地域の実情等に係る情報を幅広く収集するよう努めた。

【支援実績】

- ・新規相談件数：4件
- ・過年度からの継続相談件数：23件
- ・プラン作成件数：3件
- ・延べ相談件数：124件
- ・相談終結件数：0件

(3) 地域における生活困窮者支援等のための共通の基盤づくり事業

生活に課題を抱える地域の生活困窮者の情報収集やニーズの把握、また、関係性の構築、社会とのつながりを支援することで、就労その他自立支援に繋げるよう支援を実施した。

【支援実績】

- ・生活困窮者自立相談支援事業における支援調整会議への出席：12回
- ・企業、団体からの寄付の受け入れ：4団体
- ・学習支援、子ども食堂、食品配布会の運営支援：食材の寄贈等
- ・居住支援法人、就労支援団体への繋ぎ：5件

【事業の成果と課題】

1 総合的な相談対応

今年度も初回相談時から生活福祉資金の貸付や生活困窮者自立支援事業に類する相談が多く、総合相談としての対応件数は減少している。

しかしながら、債務整理や困窮者ではない浪費に関する相談等、制度の間の課題を抱えている方の相談が目立っていた。法的な課題を含み所内で対応が難しい案件については、専門職相談等を活用し適切な機関に繋げるよう対応した。

2 日常生活自立支援事業

今年度は生活困窮者支援での関わりから制度利用に繋がったケースや、債務整理を行う為の金銭管理、消費者被害に遭っていると思われるケースの制度利用の相談があった。所内で適した制度について協議し、成年後見制度に移行する案件については関係機関と調整を重ね、適切な制度利用に繋がるよう支援を実施した。

3 生活困窮者自立支援事業

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けた世帯の相談が継続して寄せられた。また、多重債務に陥った世帯の相談も複数寄せられた。家計改善支援相談に繋ぎ、困窮状態に陥った要因を可視化することで収支バランスの改善を図る等、世帯更生のきっかけづくりに努めた。

4 生活福祉資金貸付事業

失業や疾病により困窮状態に陥った世帯の貸付相談も寄せられ、本則

に則った貸付申請の支援を行ったが、所得要件や償還計画作成困難等で申請が難しいケースもあった。所得要件の確認基準が、前年度所得で算定するなど貸付が必要な状態となった時の状態と合致せず、現在の生活課題にそぐわないため申請できない案件が見受けられた。貸付以外の支援の手立ての確保が課題となっている。

5 重層的支援体制整備事業

社協内で横断的な連携を図り事業の推進を図るため、相談部門と地域福祉部門の打ち合わせを定期的で開催し、社会資源の開発を含め多角的な意見交換の機会を持つように努めた。

アウトリーチ訪問の依頼については、民生委員からの相談が多い。今後も対象ケースの情報を寄せていただけるよう、事業の啓発について継続して実施していく。

1-4 共同募金助成金事業

施策の方向2 地域くともに支え合う地域づくり>
基本施策3 住民同士の連携による地域福祉の推進

1 一般募金助成金事業

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」を全国共通助成テーマに、多様なニーズに即した助成を行う。

昨年度寄せられた共同募金を財源とする一般助成金事業と当年度歳末たすけあい募金を財源とする歳末たすけあい見舞金事業を実施した。

項 目		期 日	内 容	助成額
1 福祉育成援助活動費				2,778,000 円
1	福祉教育実践校事業	通年事業	指定校助成金	425,392 円
2	小地域福祉活動推進事業	通年事業	活動助成金	1,180,000 円
3	地域福祉支援活動助成金事業	通年事業	活動助成金	250,000 円
4	災害ボランティア啓発事業 (協働型災害ボラセン運営訓練)	3月2日	事業費	84,159 円
5	福祉教育・啓発スタンプラリー (福祉健康まつり内で実施)	10月20日	事業費	224,431 円
6	生活困窮者等食糧支援パック	通年事業	事業費	40,000 円
7	ひとり親家庭親子交流事業	11月17日	事業費	49,096 円
8	新入学児童見守り支援事業 (黄色帽子贈呈)	3月	事業費	342,881 円
9	広報発行事業(共同募金ありがとう特集号)	3月1日号	事業費	130,000 円
10	こどもの居場所づくり支援事業	12月26日 3月22日	事業費	41,294 円
11	いずみ教室クリスマス会支援事業	12月24日	事業費	10,747 円
2 老人福祉活動費				511,321 円
1	シニアクラブ e スポーツ支援事業	通年	備品等購入費	149,985 円
2	緊急通報システム「福祉電話」設置者助成事業	通年事業	助成金	265,000 円
3	地域支えあいメッセージ事業 (一人暮らし高齢者等)	通年事業	事業費	30,015 円
4	ひとり暮らし高齢者交流事業	通年事業	事業費	66,321 円

(2) 費用按分事業内訳

(単位：円)

項 目		サービス区分 1 (共募助成金)	サービス区分 2 (地域福祉活動)	事業費 (1 + 2)
1	災害ボランティア啓発事業 (協働型災害ボラセン運営訓練)	84,159	41,936	126,095
2	広報発行事業(共同募金あり がとう特集号)	130,000	73,500	203,500
3	こどもの居場所づくり支援事業	41,294	30,000	71,294
4	緊急通報システム「福祉電話」 設置者助成事業	265,000	5,600	270,600
5	ひとり暮らし高齢者交流事業	66,321	6,334	72,655

2 歳末たすけあい見舞金事業

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに民生委員の協力を得て見舞金を贈呈、または助成金を支給した。

対 象	・令和6年10月1日に長泉町に住民票を有する世帯全員の住民税が非課税世帯もしくは準要保護世帯、または非課税世帯のうち児童扶養手当受給世帯 ・地域で暮らす誰もが安心して年末の時期を過ごすことができるように町内で身近な福祉課題に取り組んでいる団体
-----	--

【対象者分類別一覧】

(単位：円)

対象者	助成金支出(見舞金含む)	事務費支出	対象者別合計額
高齢者	430,000	0	430,000
障害児・者	170,000	0	170,000
児童・青少年	1,281,000	49,551	1,330,551
課題を抱える人	17,000	0	17,000
合計	1,898,000	49,551	1,947,551

【対象者件数別一覧】

(単位：件)

対象者	見舞金	助成金	合計
高齢者	29	3	32
障害児・者	17	2	19
児童・青少年	53	0	53
課題を抱える人	1	0	1
合計	100	5	105

3 災害ボランティア活動用資機材に関する覚書に基づく訓練

地域づくりセンターモク・オハナ敷地内に地震・水害等自然災害発生時に被災地で要援護者を支援するボランティア活動用の資機材を保管する防災倉庫を設置したなか、その際関係者間において取り交わした災害ボランティア活動用資機材に関する覚書に基づく訓練を開催し、防災倉庫内の資機材の確認を行うとともに、必要な追加資機材についても検討した。

日 時 令和7年2月10日 午後1時30分～午後2時40分

場 所 地域づくりセンターモク・オハナ 2階地域交流室



【事業の成果と課題】

一般募金助成金事業は、地域福祉活動事業のうち共同募金を財源とする事業を昨年度の募金実績により定められた計画に基づき事業費を充てて実施している。各事業の詳細は別途事業報告に記載している。

歳末たすけあい募金助成事業は、申請基準日を見直し、贈呈世帯の要件確認について行政協力をいただき、必要な方に必要な支援が届くように努めた。

なお、歳末に地域福祉活動を行う団体に対する活動費助成は、社協だよりを通じて周知したところ申請が5件あり活動費用の一部を助成している。

また、昨年設置した災害ボランティア活動用の資機材を格納する防災倉庫について、覚書を取り交わした関係団体と協働して防災訓練を実施した。

1-5 手話通訳者派遣事業（長泉町受託事業）

(3) 施策の方向3「関係機関・体制〈暮らしを支える包括的な体制づくり〉」 (3)-4 より良質な福祉サービス提供の推進

1 事業目的

聴覚障がい者及び音声又は言語機能障がい者並びに聴覚障がい者等と意思の疎通を図る必要のある者が手話通訳を必要とする場合に手話通訳者を派遣し、意思伝達の手段を確保することにより、聴覚障がい者等の福祉の増進及び社会参加の促進に資することを目的とする。

2 事業内容

(1) 運営状況

- ・登録手話通訳者 5人（町4人、広域登録1人）
- ・手話通訳等報酬 1時間 3,180円 交通費 1kmあたり 40円支給

(2) 手話通訳者派遣事業実績

月	件数	通 訳 者 派 遣 数							項 目 別 件 数								
		時間帯		登録者数		派遣場所		派遣時間 手話登録者 合計									
		昼	夜	町内	町外	町内	町外		生命健康	官公署	職業	教育	教養自己	住居	地域生活	団体活動	その他
		件数	件数	人数	人数	件数	件数		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	10	9	1	2	8	7	3	11:50	6	0	0	0	0	0	2	1	1
5月	10	8	2	6	7	5	5	19:05	7	0	0	0	0	0	0	3	0
6月	7	7	0	1	8	4	3	15:00	4	0	0	0	0	0	0	2	1
7月	12	10	2	6	10	6	6	26:25	5	0	0	0	0	0	0	4	3
8月	8	6	2	4	5	4	4	11:45	4	0	0	0	0	0	0	3	1
9月	9	8	1	5	5	5	4	18:35	6	1	0	0	0	0	1	1	0
10月	8	7	1	3	7	3	5	22:20	5	0	0	0	0	0	0	2	1
11月	15	13	2	10	11	6	9	46:14	7	0	0	0	1	0	1	5	1
12月	19	18	1	8	14	11	8	37:48	9	0	1	0	0	0	2	6	1
1月	10	9	1	6	6	7	3	18:35	7	0	0	0	0	0	0	3	0
2月	14	11	3	7	12	6	8	31:10	7	0	0	0	0	0	1	4	2
3月	12	12	0	7	8	4	8	31:35	7	0	1	1	0	0	0	2	1
R6 合計	134	118	16	65	101	68	66	290:22	74	1	2	1	1	0	7	36	12
R5 合計	170	153	17	114	119	90	80	469:49	73	1	2	1	4	0	18	54	17

(3) 手話通訳者派遣事業利用実人数

個人：9人

団体：6団体

(4) 手話奉仕員養成講座「基礎編」

- i 日 程 5月15日～11月13日 毎週水曜 19時～21時
全22講座・3講義
- ii 会 場 長泉町福祉会館
- iii 対象者 長泉町在住、在勤の高校生以上の方
- iv 参加者 10人
- v 修了者 10人



手話奉仕員養成講座

(5) 夏休み子ども手話教室

聞こえない人の言葉「手話」の学習を通じて聴覚障がい者との交流と理解を深めることを目的に、低学年クラスと高学年クラスに分かれ2日間開催した。

開催日 7月27日（土）～7月28日（日）2日間

参加者 29人（子ども20人、保護者9人）

講師/協力 身体障害者福祉会ろうあ部、登録手話通訳者会、
手話サークルふくろうの会



子ども手話教室

(6) 手話体験講座

長泉町民対象に聞こえない人の言語である「手話」について学び、手話でのコミュニケーションを体験し聞こえない人との交流を通し、聞こえない事

への理解を深めることを目的に開催した。

開催日 2月26日（水）19:00～21:00

参加者 22名

講師/協力 身体障害者福祉会ろうあ部、登録手話通訳者会、
手話サークルふくろうの会



手話体験講座

【事業の成果と課題】

登録手話通訳者が今年度1人増えた。

手話通訳者派遣事業は、昨年度の実績と比較して件数、時間数とも大きく減少しているが、団体活動などで派遣申請が多かった方が逝去されたことが影響している。一方で、『生命・健康』の派遣件数は昨年度と変わらず、平日日中の申請に対し他市町の協力を得て手話通訳者を調整したが、受診は急な申請もあるため、限られた時間での派遣調整対応に苦慮している。手話通訳者派遣事業を利用しているろう者の高齢化もあり、平日日中の手話通訳者の確保は課題である。

手話体験講座は、一般の参加者の他、役場・消防署職員の参加があり「ここに印鑑を押してください」「どうしましたか」等日々の業務で活用する言葉を学んでいる姿がみられた。

令和6年4月1日に長泉町で手話言語に関する基本条例が施行された。今後とも町福祉保険課と相談しながら、身体障害者福祉会ろうあ部や登録手話通訳者会、手話サークル等に協力を得て、手話や聴覚障害について住民が学ぶ機会をつくっていきたい。

1-6 小口資金貸付事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
 基本施策 1 多様化する生活状況に対する支援の充実

1 事業目的

長泉町に居住し、かつ住所登録のある低所得者で、緊急又は不時の出費を要する者に対し、生活の自立と福祉の増進を図るため、民生委員と連携して生活支援及び小口資金の貸付けを行う。

2 貸付状況

申 込 状 況		決 定 状 況		申込に対する決定率	
件数	金 額	件数	金 額	件数(%)	金 額 (%)
4 件	84,555 円	4 件	84,555 円	100	100

3 償還状況

項目	貸 付 金 額		償 還 金 額		不納欠損額		貸付残高 ①-②-③
	件数	金 額①	件数	金 額②	件数	金 額③	金 額
当年度分	4 件	84,555 円	3 件	18,555 円	0 件	0 円	66,000 円
過年度分残高	8 件	168,500 円	3 件	47,000 円	0 件	0 円	121,500 円
合計	12 件	253,055 円	6 件	65,555 円	0 件	0 円	187,500 円

・償還終了件数：3 件

・償 還 残 件 数：9 件（当年度貸付分：3 件 過年度貸付分：6 件）

【事業の成果と課題】

離職による経済的な困窮からライフライン停止の可能性が高まった世帯や、一時的な出費により家計が苦しくなった世帯に対し、貸付を行った。

今後も、貸付事業単独ではなく、町福祉保険課や生活困窮者自立支援事業と連携し無理なく生活の立直しにつながるよう対応していく。

過年度貸付世帯の6件については償還が計画通りにできていないため、行政や民生委員・児童委員と連携して負担のない償還を促すことに努めているが、償還には至っていない。

1－7 生活支援体制整備事業（長泉町受託事業）

施策の方向 2 地域〈ともに支え合う地域づくり〉
基本施策 3 住民同士の連携による地域福祉の推進

1 事業目的

日常生活上の支援が必要な高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために、必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、長泉町からの受託事業として第1層及び第2層生活支援コーディネーターを配置し、支援ニーズの抽出や担い手の養成、サービスの開発を行っている。

2 事業内容

(1) 第1層(町内全体)を対象とした活動

民生委員、シニアクラブ、シルバー人材センター、地域包括支援センターなどの福祉団体、関係機関と高齢者の生活課題に対する協議を行った。

① 第1層協議体会議開催

第1回

日 時：7月25日(木) 10:00～12:00
参 集：介護支援専門員、有償ボランティア団体
参 加：構成員11名、介護支援専門員12名
助 言：(一社)コミュニティーネットハピネス代表理事土屋幸己氏
内 容：介護支援専門員向け本事業の理解促進について

第2回

日 時：9月13日(金) 10:00～12:00
参 集：健康増進課、生涯学習課、福祉保険課
参 加：構成員11名、行政関係課3名
助 言：(公財)さわやか福祉財団 岡野 貴代 氏
内 容：介護予防に資する通いの場について

第3回

日 時：12月4日(水) 10:00～11:00(防災センター多目的室)
参 加：構成員11名、第2層7名、講師1名 計19名
助 言：(一社)コミュニティーネットハピネス代表理事土屋幸己氏
内 容：移動支援サービス及びフォーラムの開催報告と
課題共有について

第4回

日 時：2月13日(木) 10:00～12:00
参 加：構成員11名、講師1名 計12名
内 容：リエイブルメント事業の内容共有、令和7年度計画について
助 言：(一社)コミュニティーネットハピネス代表理事土屋幸己氏

② 運転ボランティア養成講座

日 時：6月20日(木) 10:00～16:00

参 加：11名(有償ボランティア団体)

講 師：認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク

内 容：道路運送法、リスク管理、路上教習など基本的な知識の習得



③ 第2層協議体役員等勉強会開催

日 時：7月31日(水) 10:00～12:00

対 象：第2層協議体構成員、有償ボランティア団体 18名

講 師：(一社)コミュニティーネットハピネス代表理事土屋幸己氏

内 容：話し合いの場「協議体」について



④ 生活支援コーディネーター勉強会開催

日 時：第1回5月 8日(水) 10:00～11:30

第2回5月28日(火) 15:00～16:30

対 象：第1層及び第2層生活支援コーディネーター、長寿介護課

講 師：(一社)コミュニティーネットハピネス代表理事土屋幸己氏

内 容：令和6年度計画と本事業の理解促進について

⑤ 地域助け合いフォーラム

日 時：11月15日(金) 13:30～16:00(いずみの郷)

内 容：基調講演及び生活支援体制整備事業について

生活支援や移動支援等の助け合い活動の実践紹介

講 師：さんすい防災研究所 山崎 水紀夫 氏

参 加：34名



⑥ 視察研修

ア やまびこ

日 時：令和6年1月31日（金）10:00～16:00

内 容：富士市天間暮らし支え合いセンターの助け合い活動の共有

イ チームつながり

日 時：令和7年3月18日（火）9:00～14:00

内 容：富士見台暮らし支えあいセンター助け合い活動の共有

参 加：10名



⑦ 企業等との協議

ア 日本カーシェアリング協会と車両貸出の打ち合わせ

イ 高齢者の見守り及び通いの場について静岡銀行との打ち合わせ

ウ ダイハツ運転ボランティア講座での連携と居場所打ち合わせ

エ ウエルシア薬局移動販売車運行状況と活用について打ち合わせ

(2) 第2層（小学校区）を対象とした活動

① 第2層協議体会議開催

小学校区ごとに高齢者の生活課題について状況を共有し、課題解決に向け地域包括支援センターと連携をしながら協議を行っている。

ア 北小校区

第1回

日 時：令和6年7月21日（日）11:30～12:30

内 容：山岸地区の生活課題を考える 10名

第2回

日 時：令和6年9月15日（日）11:00～12:00

内 容：社協の「外出状況調査」結果から人生の楽しみを考える
11名

第3回

日 時：令和6年12月8日（日）11:30～12:10

内 容：楽しみがある人生 その行方 12名

イ 長小校区

第1回

日 時：令和6年8月26日（月）14:00～15:30

参 加：17名

内 容：社協の「外出状況調査」結果から、買い物の困りごとの把握、課題抽出を実施

第2回

日 時：令和6年12月23日（月） 16：00～17：00

参 加：14名

内 容：社会資源（スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア、）地域サロンのマッピング作業

第3回

日 時：令和7年1月9日（木） 13：30～14：30

参 加：10名

内 容：社会資源（スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア）、地域サロンのマッピングから見えた課題について話し合い。

第4回

日 時：令和7年2月7日（金） 10：00～12：00

参 加：16名

内 容：民生委員、シニアクラブ区会長、住民にも参加してもらい、買い物に関する困りごとを出し合った。困りごとに対し、どのような支援があると良いかを話し合った。

ウ 南小学校区

第1回

日 時：令和6年10月1日（火） 14：00～16：00

参加者：11人

内 容：今後の協議体について、社協の「外出状況調査」結果から南小学校圏域の高齢者の実態把握

第2回

日 時：令和6年11月19日（火） 14：00～15：30

参加者：8人

内 容：「通所型サービスB」について

第3回

日 時：令和6年12月17日（火） 14：00～15：30

参加者：11人

内 容：南小学校区の資源マッピング

第4回

日 時：令和7年1月21日（火） 14：00～15：30

参加者：12人

内 容：竹原地域男の料理教室と本宿区マックスバリュ移動販売について共有、課題解決や高齢者支援について意見交換

第5回

日 時：令和7年2月18日（火） 14：00～15：30

参加者：8人

内 容：本宿区マックスバリュ移動販売、サロン活動がない地域の

方がサロンに参加したい場合どう対応するか意見交換

第6回

日 時：令和7年3月18日（火） 14：00～15：30

参加者：9人

内 容：外出サポーター養成講座を受講して意見交換、南小学校区内の活動について共有



② 有償ボランティア団体への生活支援コーディネーターの後方支援

ア やまびこ

- ・定例会出席、総会資料作成／町の補助金申請支援
- ・学生ボランティアの受け入れ

イ チームつながり

- ・役員会、定例会の出席／移動支援分科会、保険会社との打ち合わせに出席
- ・利用者宅訪問の同行／会計、困難ケース等運営上の相談

ウ 生活サポートあゆむ

- ・運営上の相談対応
- ・グランツ区タウンミーティングでの講話調整、後方支援



③ 関係機関とのネットワークの構築

ア 地域包括支援センターとの連携

- ・山岸地区のニーズ調査、チェックリスト実施、課題確認
- ・池田区サロン立上げ
- ・ケアプラン作成前訪問の同行
- ・喫茶花あかり、モクカフェへの参加
- ・ラジオ体操や生活サポート活動支援、協議体に関する相談
- ・マッピングから地域課題検討
- ・協議体の運営について打ち合わせ

イ 地域ケア会議への参加

地域包括支援センターが主催する地域ケア会議に出席し、居宅介護

支援事業所のケアマネジャーのプランについてインフォーマル活動の導入について協議した。(8回)

ウ 個別ケースのコーディネート

ボランティア活動を通じて見つけた気になるケースについて、ボランティア、民生委員、地域包括支援センター、社協相談部門、SCでケース会議を開催

エ 介護支援専門員との連携

もっこくの会において、有償ボランティア紹介・社会資源紹介や介護支援専門員と情報交換を行った。

ステップアップの会において有償ボランティア紹介を行った。

利用者宅訪問担当者会議出席/生活課題共有

居宅事業所を訪問しケアマネと情報交換実施

チームオレンジ調整

ケアマネ連絡会にて、チームつながりの移動支援について周知

オ 民生委員との連携

ブロック会議に参加し有償ボランティア活動の情報提供を行った。

カ 訪問看護ステーション所属作業療法士との連携

移動支援利用者およびコーディネーターにアンケート実施及び評価について

キ その他

住民による移動支援の先進事例である函南町ダイアランドと移動支援に関する情報交換会を実施。

参加：20名



④ 社会資源の創出及び通いの場支援

- ・やまびこ移動支援から池田区サロンを立ち上げ
- ・チームつながり、ボランティアの自家用車を利用した通院同行支援を開始
- ・駅上区民との通いの場の在り方や支援方法の検討
- ・地域学校協働活動とシニア世代の活動の場のマッチング



- ・惣ヶ原健康推進員と体操の開催について検討
- ・杉原公園ラジオ体操に参加し状況共有や相談支援、健康増進課との連携による活動普及のための後方支援を実施
- ・竹原地区男の料理教室の立ち上げや継続の相談対応や情報提供
- ・リエイブルメント事業について研修参加
- ・移動支援買い物後のサロンの検討
- ・地域サロンでの介護予防体操協力について検討
- ・通所 B 立ち上げ相談
- ・地域学校協働活動とシニア世代の活躍の場のマッチング

⑤ ニーズ調査

- ・社会福祉協議会で実施した「外出状況調査」の集計作業を協議体構成員とともに実施し、各協議体で結果を共有し課題解決に向け検討した。
- ・公民館等訪問しニーズ調査実施
- ・ひとり暮らし高齢者交流会参加者への生活上の困りごとについてヒアリング
- ・本宿区マックスバリュ移動販売訪問による買い物見守り等支援の必要性の把握

⑥ サービスの担い手養成講座等の開催

南小校区

- ・傾聴講座

日 時：令和 7 年 3 月 8 日（土） 10：00～11：45

参加者：7 人

内 容：AYUMU 活動者向けに傾聴のノウハウについて学んだ。

- ・外出サポーター養成講座

日 時：令和 7 年 3 月 18 日（火） 14：00～14：45

参加者：8 人

内 容：本宿区移動販売来所者に手押し車利用者の高齢者の見守り活動の一環として歩行器と手押し車について学習した。



3 情報発信

各協議体、SC などの間の情報共有、活動の見える化を行うことで共通認識を図ることを目的に、町広報誌で活動内容を掲載した。

【事業の成果と課題】

第2層における協議体は、地域の中で高齢者について議論する協議体の活性化を目的に、協議体の運営方法を見直し実施した。地域包括支援センターや介護支援専門員との連携に向け、協議体の展開方法や頻度について改善が必要である。

福祉専門職や地域住民へ、高齢者の助け合いというテーマで本事業が展開していることの認識を共有することができているが、方向性や共通認識、役割分担の見える化が必要である。次年度からリエイブルメント事業への参画及び地域包括支援センターや理学療法士と連携に向けて、生きがいを感じ役割を持った社会参加や介護予防につなげていく個別支援から地域づくりへの一体的支援を目指し、定期的に関係者間との情報交換の場を設定し、関係者間の情報共有、サービス提供主体間の連携体制づくり事業理解及び連携を図っていく。

1－8 権利擁護推進事業

施策の方向 3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策 5 権利擁護の推進

1 事業目的

この事業は、今後需要の増加が見込まれる成年後見制度を安定して利用できるよう、市民後見人を育成し、制度の普及啓発を行うことで成年後見制度の充実を図ることを目的とする。

また、本会が法人後見の実施機関として体制を構築し、判断能力が衰えても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で生活することができるよう、成年後見制度の利用等により権利擁護支援を行うことを目的とする。

2 事業概要

(1) 市民後見推進事業（長泉町受託事業）

沼津市、裾野市、清水町、長泉町の2市2町の枠組みにより、広報啓発事業、市民後見人養成研修、市民後見人名簿登録者に対するフォローアップ講習等を行う。

(2) 法人後見事業

本会の単独事業として静岡家庭裁判所の審判を得て受任する。

(3) 成年後見中核機関事業（長泉町受託事業）

成年後見制度に関する相談事業を行う。

3 事業内容

(1) 市民後見推進事業

① 啓発事業 7月20日（土）

市民後見人養成講座啓発講演会を開催

講座参加者：33名（うち、参加支援事業利用者3名）

② 市民後見人養成講座事前説明会 8月30日（金）、9月6日（金）

説明会参加者：22名（うち、長泉町民8名）

③ 市民後見人養成講座 10月4日（金）～1月24日（金）

受講者：9名（うち、長泉町民3名）

④ フォローアップ研修を兼ねて市民後見人名簿登録者（3名）を対象に、毎月1回連絡会を開催している。

(2) 法人後見事業

今年度は2件受任、現在11件受任している。

市民後見人との複数選任は2件となっている。

【受任件数】

	後見	保佐	補助	合計
R6 年度末	3	6	3	12

(3) 成年後見中核機関事業

相談対応として、実人数 6 人、延べ相談件数 28 件の相談に対応した。うち、制度利用支援（本人申立による成年後見制度利用申立）として、1 人の申立書作成支援を行っている。

また、7 月 20 日に開催された「市民後見人養成講座啓発講演会」に参画し、成年後見制度に関する普及啓発に努めた。

【事業の成果と課題】

法人後見との複数選任で活動している 2 名の市民後見人も順調に活動できており、新たな形で地域での暮らしを支援することができている。新たな市民後見人候補者の方々も、新年度から支援員として経験を積むことができるよう、ケースのマッチングを実施していく。

日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行ケースも増えてきている。利用者が安心できる支援の継続性を担保するためにも、今後も継続的にフォローアップ研修を行い、市民後見人として選任されるよう担い手の育成に力を入れていきたい。

2 老人福祉センター

2-1 福祉会館事業（町指定管理事業）

施策の方向3 関係機関・体制＜暮らしを支える包括的な体制づくり＞
基本施策1 多様化する生活状況に対する支援の充実

1 事業目的

福祉会館は、老人福祉センター、地域福祉センターの機能を持った複合施設として、住民の健康と福祉の増進並びに住民相互の交流を図るため、健康相談事業、機能回復訓練、文化教養の向上の場として活用され、健康で助けあう生きがいのある町づくりの拠点となるべく隣接する在宅福祉総合センターと連携し、良質な福祉サービスを提供する。

2 管理業務の状況

(1) 清掃・環境衛生業務（令和5年度～令和6年度の長期継続契約）

- ① 日常清掃（毎日、火曜日・年末年始を除く※ただし、月曜祝日等で営業した翌日は実施）
 - ② 定期清掃 床清掃（年6回） 浴室天井壁面清掃（年4回）
 - ③ 窓ガラス清掃、屋上ドレン口ゴミ取り（年4回）
 - ④ 衛生管理 害虫防除（年2回）空気環境測定（年4回）
 - ⑤ 濾過系統配管消毒業務（週1回）レジオネラ菌防止対策の高濃度塩素消毒
- (2) 管理員派遣業務（毎日） シルバー人材センターからの管理員派遣
- (3) エレベータ点検（月1回） エレベータ機器の保守点検（法定点検含）
- (4) 夜間警備業務（毎日） 夜間閉館時の機械警備業務
- (5) 浴槽設備点検（年2回）、 各浴槽設備、ろ過機等点検、24時間対応貯湯槽清掃消毒業務（年1回） レジオネラ菌防止対策の清掃消毒
- (6) 給水設備点検 給水設備（貯水槽、給水ポンプ）の保守点検（隔月1回）、飲料水・給湯水検査（年2回）・貯水槽清掃滅菌作業（年1回）
- (7) 浴槽水水質検査 レジオネラ属菌検査 気泡風呂（2ヶ月／奇数月）一般項目検査（年2回）※夜間営業延長期間（7月～8月）は毎月検査し、浴槽の安全性を確認した。
- (8) 電気保安業務（隔月1回） 機械室内変圧器等、変電・発電設備点検
- (9) トイレ消臭機器保守（隔月1回）大広間前トイレ消臭機器保守管理
- (10) ボイラー設備点検（年4回） 昇温・給湯ボイラー機器の保守点検
- (11) 消防設備点検（年2回） 自動火災報知設備・屋内消火栓・誘導灯及び誘導標識・非常放送設備・消火器の点検
- (12) 自動ドア点検（年2回） 機器の保守点検
- (13) 特殊建築物・建設設備定期報告（年1回） 建築基準法第12条第3項に基づく定期報告書作成業務
- (14) 地下タンク貯蔵所漏洩検査（年1回）重油用地下タンクの微加圧検査

3 施設利用状況

(1) 長泉町福祉会館利用状況

(単位:人)

月	開館 日数	会議室			浴室・大広間								合 計 (1) + (2)	一 日 平均	健 康 相 談
		有料	無料	小計 (1)	有料				無料			小計(2)			
					大人 一般	高齢者 障害者	短時間	小人	シニア クラブ	大人	その他				
4月	26	609	1,063	1,672	76	658	1,261	22	90	9	3	2,119	3,791	146	335
5月	28	503	1,387	1,890	73	654	1,445	24	79	7	3	2,285	4,175	149	337
6月	26	561	1,311	1,872	78	591	1,311	21	90	9	2	2,102	3,974	153	342
7月	27	503	1,438	1,941	99	724	1,748	43	87	0	4	2,705	4,646	172	252
8月	28	816	1,084	1,900	76	823	2,009	132	100	0	0	3,140	5,040	180	243
9月	27	626	1,311	1,937	65	675	1,293	16	117	6	0	2,172	4,109	152	302
10月	26	594	1,144	1,738	85	615	1,295	34	82	10	4	2,125	3,863	149	317
11月	23	301	1,211	1,512	70	697	1,477	21	95	6	0	2,366	3,878	169	280
12月	23	306	1,236	1,542	72	707	1,494	27	152	8	0	2,460	4,002	174	274
1月	24	404	1,121	1,525	84	724	1,524	29	92	11	0	2,464	3,989	166	256
2月	25	486	1,376	1,862	95	777	1,491	35	97	1	7	2,503	4,365	175	289
3月	26	678	2,264	2,942	80	746	1,642	30	107	11	0	2,616	5,558	214	271
合計	309	6,387	15,946	22,333	953	8,391	17,990	434	1,188	78	23	29,057	51,390	166	3,498
R5 年度	310	5,240	15,752	20,992	1,068	7,651	18,081	687	1,021	68	76	28,652	49,644	160	3,566
増減	△1	1,147	194	1,341	△115	740	△91	△253	167	10	△53	405	1,746	6	△68

※電気設備故障に伴う臨時休業について

- ・内容:11月17日(日)午前1時30分頃に発生した高圧ケーブルの地絡事故による全館停電のための臨時休業。18日(月)午後6時15分に復旧したが、貸館利用は19日(火)まで休業、浴室利用については、長時間停電の影響のため浴槽設備機器等の確認設定の復旧、浴槽内清掃・消毒、配管消毒等の調整、確認のため21日(木)まで休業した。

(2) 会議室等利用状況

(単位:件数)

月	会議室等利用件数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	20	18	19	57	33	42	19	94	53	60	38	151
5月	18	16	20	54	41	51	20	112	59	67	40	166
6月	18	14	15	47	36	44	20	100	54	58	35	147
7月	15	16	13	44	37	46	28	111	52	62	41	155
8月	26	14	11	51	26	29	21	76	52	43	32	127
9月	17	11	17	45	41	43	24	108	58	54	41	153
10月	19	8	24	51	31	43	21	95	50	51	45	146
11月	11	9	13	33	31	36	29	96	42	45	42	129
12月	9	10	12	31	31	40	29	100	40	50	41	131
1月	12	8	14	34	29	40	23	92	41	48	37	126
2月	13	12	15	40	36	39	23	98	49	51	38	138
3月	15	14	24	53	67	67	30	164	82	81	54	217
合計	193	150	197	540	439	520	287	1,246	632	670	484	1,786
R5 年度	137	157	236	530	378	467	271	1,116	515	624	507	1,646
増減	56	△7	△39	10	61	53	16	130	117	46	△23	140

(単位:人)

月	会議室等利用人数											
	有料				無料				合計			
	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
4月	255	175	179	609	372	450	241	1,063	627	625	420	1,672
5月	119	198	186	503	592	570	225	1,387	711	768	411	1,890
6月	213	191	157	561	559	473	279	1,311	772	664	436	1,872
7月	187	189	127	503	529	529	380	1,438	716	718	507	1,941
8月	561	178	77	816	412	373	299	1,084	973	551	376	1,900
9月	218	194	214	626	566	404	341	1,311	784	598	555	1,937
10月	181	102	311	594	415	471	258	1,144	596	573	569	1,738
11月	79	102	120	301	415	376	420	1,211	494	478	540	1,512
12月	78	111	117	306	428	388	420	1,236	506	499	537	1,542
1月	160	103	141	404	392	444	285	1,121	552	547	426	1,525
2月	135	143	208	486	552	486	338	1,376	687	629	546	1,862
3月	151	203	324	678	948	729	587	2,264	1,099	932	911	2,942
合計	2,337	1,889	2,161	6,387	6,180	5,693	4,073	15,946	8,517	7,582	6,234	22,333
R5 年度	1,894	1,755	1,591	5,240	5,637	5,803	4,312	15,752	7,531	7,558	5,903	20,992
増減	443	134	570	1,147	543	△110	△239	194	986	24	331	1,341

(3) 浴室、会議室等使用料収入

(単位：円)

月	券売機	回数券	小計	会議室	会議室 利用料還付	その他 公衆電話他	合 計	R5 年度	増減
4月	428,300	152,000	580,300	50,300	0	90	630,690	555,190	75,500
5月	472,700	169,000	641,700	86,300	0	20	728,020	603,040	124,980
6月	438,100	125,000	563,100	24,500	0	40	587,640	576,030	11,610
7月	580,700	229,000	809,700	46,600	0	60	856,360	739,580	116,780
8月	667,600	180,000	847,600	26,400	0	50	874,050	765,110	108,940
9月	444,600	136,000	580,600	34,600	0	50	615,250	816,520	△201,270
10月	440,200	182,000	622,200	34,100	0	60	656,360	758,030	△101,670
11月	492,300	154,000	646,300	59,600	0	140	706,040	793,510	△87,470
12月	509,300	175,000	684,300	24,900	0	50	709,250	811,230	△101,980
1月	521,500	152,000	673,500	32,600	0	10	706,110	626,190	79,920
2月	559,400	183,000	742,400	38,600	0	40	781,040	717,180	63,860
3月	553,800	175,000	728,800	47,000	△1,000	90	774,890	766,030	8,860
合計	6,108,500	2,012,000	8,120,500	505,500	△1,000	700	8,625,700	8,527,640	98,060

(4) 健康器具利用料収入

(単位：円)

月	カラオケ	セレプレックス	マッサージ	合計	R5 年度	増減
4月	23,700	14,100	20,200	58,000	65,200	△7,200
5月	30,300	12,000	20,200	62,500	73,900	△11,400
6月	22,600	10,500	19,000	52,100	59,800	△7,700
7月	24,500	7,200	22,900	54,600	60,000	△5,400
8月	29,900	7,700	27,500	65,100	71,300	△6,200
9月	36,600	6,300	19,400	62,300	69,600	△7,300
10月	26,600	7,400	22,600	56,600	71,400	△14,800
11月	20,500	7,900	19,500	47,900	62,300	△14,400
12月	29,300	11,000	20,400	60,700	75,100	△14,400
1月	31,100	6,200	20,500	57,800	63,100	△5,300
2月	44,200	7,800	23,300	75,300	76,000	△700
3月	43,300	7,900	26,300	77,500	60,500	17,000
合計	362,600	106,000	261,800	730,400	808,200	△77,800

4 光熱水費使用状況等

(1) 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱量		燃料使用量
	電気 (単位: kwh)	上下水道 (単位: m ³)	A重油 (単位: L)
4月	12,673	0	6,000
5月	13,165	1,876	4,000
6月	13,724	0	4,000
7月	24,155	1,886	4,000
8月	26,072	0	6,000
9月	20,111	2,330	4,000
10月	15,516	0	4,000
11月	13,213	1,982	6,000
12月	16,099	0	4,000
1月	18,408	1,700	6,000
2月	18,954	0	6,000
3月	17,545	1,800	6,000
合計	209,635	11,574	60,000
R5 合計	215,365	12,151	62,000
増減	△5,730	△577	△2,000

(2) 水道光熱費・燃料費支出

(単位: 円)

月	水道光熱費					燃料費	合計	R5 年度	増減
	電気	LP ガス	炭酸ガス	水道	計	A 重油			
4月	358,490	8,346	87,480	0	454,316	818,400	1,272,716	1,061,994	210,722
5月	390,317	9,474	104,976	445,570	950,337	545,600	1,495,937	1,568,123	△72,186
6月	412,412	9,474	104,976	0	526,862	545,600	1,072,462	1,382,364	△309,902
7月	684,229	8,022	139,968	447,930	1,280,149	550,000	1,830,149	2,177,493	△347,344
8月	727,040	8,748	157,464	0	893,252	818,400	1,711,652	1,627,934	83,718
9月	556,874	9,111	104,976	553,390	1,224,351	545,600	1,769,951	2,328,589	△558,638
10月	453,798	9,474	104,976	0	568,248	550,000	1,118,248	1,546,157	△427,909
11月	421,271	7,620	87,480	471,940	988,311	818,400	1,806,711	2,134,442	△327,731
12月	502,968	8,385	104,976	0	616,329	554,400	1,170,729	1,653,912	△483,183
1月	549,677	8,385	69,984	403,670	1,031,716	844,800	1,876,516	1,896,035	△19,519
2月	534,116	9,111	104,976	0	648,203	844,800	1,493,003	1,650,686	△157,683
3月	505,847	8,022	104,976	428,150	1,046,995	844,800	1,891,795	1,981,289	△89,494
合計	6,097,039	104,172	1,277,208	2,750,650	10,229,069	8,280,800	18,509,869	21,009,018	△2,499,149
R5 年度	8,467,418	103,426	1,255,824	2,894,950	12,721,618	8,287,400			
増減	△2,370,379	746	21,384	△144,300	△2,492,549	△6,600			

5 修繕等実施状況（契約価格 10 万円以上）

（単位：円）

No.	項 目	金 額	内 容
1	貸館用ネットワークルータ更新工事	403,150	ネットワーク整備のため
2	炭酸泉用加温機取替修繕	226,710	加温機老朽化のため
3	第 1.2 会議室、研修室、無線 LAN 設置工事	464,200	ネットワーク整備のため

6 安全対策

(1) 福祉会館施設利用者の傷害補償

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

(2) 防災訓練の実施

区 分	実施日	参加者	内 容
危険物安全週間	6 月 24 日（月）	11 名	水消火器訓練・避難誘導経路確認・119 番通報確認
救急訓練	7 月 29 日（月）	12 名 （シルバー管理員、健康相談員）	夜間営業に合わせて町消防署にて救急救命訓練を実施
地震防災訓練	8 月 25 日（日）	12 名	町防災訓練と連携し、施設避難誘導、災害ボランティア研修、遺体措置訓練見学

(3) 富士山南東消防本部立入検査（地下タンク）

8 月 8 日（木） 改善を要する事項は無し。

(4) 富士山南東消防本部立入検査（消防用設備等の設置の状況）

1 月 29 日（水） 改善事項あり。

○火災通報設備の不良個所の修繕について、業者より、設備すべての取替えとなるため届出等に時間が必要なこと、さらには、資機材が入手が困難な状況のため工期が 4 月になるとのこと。この状況を消防本部に報告し、4 月工事の了承をもらった。

7 その他

(1) 浴室・大広間の営業時間の延長について（平成 25 年度から実施）

勤労者や家族、若年層等の利用促進を図るため、営業時間を延長した。

① 実施期間 7 月 2 日（火）から 8 月 31 日（土）まで

2 ヶ月間（月曜日を除く、但し月曜祝日は実施）

② 延長時間 17 時 00 分から 20 時 30 分まで（3 時間 30 分）

③ 利用結果

(単位：人)

月	営業日	利用者数	1日 平均利用者	昨年度 1日平均利用者	増減
7月	27	855	31	30	1
8月	28	1,020	36	36	0
合計	55	1,875	34	33	1

(単位：人)

時間帯内訳	7月	8月	合計
16:30～17:00	116	175	291
17:00～17:30	148	172	320
17:30～18:00	143	169	312
18:00～18:30	158	163	321
18:30～19:00	134	162	296
19:00～19:30	156	179	335
合計	855	1,020	1,875

夜間売上内訳	大人券 500円	高齢者 障害者 300円	子供 100円	短時間 300円	合計
7月利用人数	1	148	28	678	855
7月売上	500	44,400	2,800	203,400	251,100
8月利用人数	0	123	67	830	1,020
8月売上	0	36,900	6,700	249,000	292,600
7月～8月利用合計	1	271	95	1,508	1,875
売上合計	500	81,300	9,500	452,400	543,700

(2) 施設の無料開放について

光熱費等の物価上昇の煽りを受け未実施。(県民の日、敬老の日)

(3) 高齢者援護活動の推進

① ふれあい推進事業の充実

事業内容	内 容
カラオケ・舞踊	1日30曲～60曲程度
囲碁、将棋、オセロ	用具の貸し出し(随時)

※卓球は、相談室の増設によるロビー縮小のため利用停止

② シニア趣味サークルへの支援

シニア世代の健康の増進と交流による仲間づくりを促進するため、事務的支援を行った。

サークル名	活 動 日	時間	会 場
ダンスサークル	毎週土曜日	午後	1 階遊戯室
将棋サークル	第 1 ・ 3 火曜日	午後	2 階教養娯楽室 1
囲碁サークル	第 2 ・ 4 火曜日	午後	2 階研修室
表千家茶道サークル	第 1 ・ 3 木曜日	午前	2 階教養娯楽室 2

※3/31 をもって、表千家茶道サークルが活動終了となった。

③ 福祉会館利用高齢者に対する送迎の実施

従来、高齢者相互の交流と健康の維持・増進を図り、福祉会館の利用を促進するため、町内の単位シニアクラブを対象としたマイクロバスによる送迎を行っている。また、シニアクラブ長泉と連携し、町パークゴルフ場の利用促進として送迎も行っている

(4) 町実施計画に基づく修繕

指定管理基本協定第 14 条で定める金額以上の施設修繕を町で実施した。

①第 1 相談室・第 2 相談室設置工事（期間：10 月 3 日～12 月 16 日）

旧相談室は、更衣室と兼用のため新たにロビー横に移設。

②福祉会館西側法面改修工事（期間：10 月 22 日～11 月 29 日）

法面に雑草や竹が生い茂り、毎年剪定等はするが斜面が急で一部のみ、また蜂などの害虫もあり、近隣住民に迷惑をかけないため工事。

【事業の成果と課題】

高齢者福祉施設として地域諸団体と連携するとともに福祉関係団体等、特に高齢者団体にとって利用しやすい施設経営に努めた。

施設の指定管理者として、地域のシニア世代、その他の関係福祉団体等の意向を踏まえつつ、期待される施設機能を十分に活かした経営の企画立案・調整を図るとともに、各種物価高騰対策として効率的な支出の削減に努め、収支の均衡が図れるよう施設運営を行った。

また、シニアクラブ長泉等と連携し、e スポーツ普及に努め新たな利用者獲得に向けた改革を図っている。

3 介護サービス事業

3-1 居宅介護支援事業

1 事業概要

要介護、要支援、または事業対象者と認定された利用者に対し、その心身の状況や希望、生活課題を十分に考慮したうえで、適切な居宅サービス計画を作成し、本人および家族の生活支援を行うことを目的とする。

介護サービスが適切かつ効果的に提供されるよう、医療機関との連携を図るとともに、関係機関との連絡調整およびサービスの給付管理を行う。

さらに地域での社会資源と協働し、支援体制を強化していく。

2 事業内容

(1) 各種申請に関すること

① 要介護・要支援認定（新規、更新、区分変更）、② 福祉サービスの利用申請 ③ その他、必要な制度利用の申請

(2) ケアプランの作成に関すること

① 居宅サービス計画の作成及び計画後の管理、② 利用者状況の把握
③ サービスの実施状況の把握、④ 関係機関との連絡調整

(3) 地域包括ケアシステムの実現とサービスの質の向上について

① 地域で支え合う仕組みづくりが推進されるよう各種会議や研修会へ出席
② 事業所内での定例の会議や勉強会の開催

3 利用状況

(1) 居宅サービス計画作成件数

月	居宅介護支援件数						介護予防支援・総合事業件数				月間 合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	要支援 1	要支援 2	総合 事業	計	
4月	21	15	20	7	2	65	17	31	6	54	119
5月	21	14	20	8	2	65	16	31	7	54	119
6月	24	14	20	7	2	67	15	31	6	52	119
7月	24	14	19	7	1	65	18	32	5	55	120
8月	25	14	18	3	1	61	17	33	4	54	115
9月	25	14	18	3	1	61	17	30	4	51	112
10月	26	15	20	3	2	66	17	31	6	54	120
11月	26	14	21	4	2	67	17	30	6	53	120
12月	28	13	22	4	1	68	18	30	6	54	122
1月	27	14	22	3	0	66	19	28	4	51	117
2月	28	15	23	2	0	68	18	28	4	50	118
3月	29	18	22	3	2	74	18	26	4	48	122
R6 合計	304	174	245	54	16	793	207	361	62	630	1,423
R5 合計	217	194	241	86	22	760	143	330	55	528	1,288
増減	87	△20	4	△32	△6	33	64	31	7	102	135

(2) 加算・減算の状況

	加 算								減 算	
	初回 (介護)	初回 (支援)	退院 退所	入院	通院時 連携加算	ターミナ ルケア	特事 Ⅲ	特事 Ⅱ	運営	集中
4 月	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5 月	2	3	0	1	1	0	0	0	0	0
6 月	2	2	0	1	1	0	67	0	0	0
7 月	2	3	1	7	2	0	65	0	0	0
8 月	2	2	0	2	1	0	61	0	0	0
9 月	3	4	0	0	0	0	61	0	0	0
10 月	3	2	0	1	1	0	66	0	0	0
11 月	5	1	0	2	0	0	67	0	0	0
12 月	1	2	1	0	1	0	68	0	0	0
1 月	1	1	0	2	1	0	66	0	0	0
2 月	9	0	1	1	0	0	68	0	0	0
3 月	5	0	0	0	2	0	74	0	0	0
R6 合計	35	21	3	17	10	0	663	0	0	0
R5 合計	32	29	6	14	7	0	0	0	0	0
増 減	3	△8	△3	3	3	0	663	0	0	0

4 居宅介護支援実績

	介護実績	支援実績	新規受入 (介護)	新規受入 (支援)	終了者
R6 合計	7 9 3	6 3 0	3 5	2 1	1 5
R5 合計	7 6 0	5 2 8	3 2	2 9	1 6
増 減	3 3	1 0 2	3	△ 8	△ 1

5 監査及び行政機関調査の実施状況

運営指導 令和 6 年 9 月 19 日（木）指摘事項なし

6 研修・会議

- (1) 所内ケアマネ定例会議：毎週 1 回
- (3) モッコクの会：5 回（6/13、8/30、11/20、12/12、2/13）
- (4) 長泉町ケア相談会：2 回（9/18、10/16）
- (5) 長泉町介護支援専門員連絡協議会、長泉町介護支援専門員連絡協議会
防災部会
- (6) その他、業務遂行に必要な会議、スキルアップ研修
（事例検討会・看護小規模多機能型居宅介護支援事業所運営推進会議等）

【事業の成果と課題】

今年度 6 月より特定事業所加算の算定が可能となったことは大きな成果である。

一方で、加算対象の要介護件数に比べ、予防の件数が大幅に増加した現状がある。

職員のスキル向上については、研修や勉強会への積極的な参加と、所内での共有を通じて、事業所全体の質の底上げにつながっている。

ケースの複雑化・多様化に伴い、高齢者以外の制度知識や支援技術、地域との連携が一層重要となっており、専門性の向上を図ることと、時間確保のための業務効率化が今後の課題である。

3-2 指定通所介護事業

1 事業概要

利用者の心身の特性を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、また利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るために必要な日常生活上の世話及び機能訓練等の介護、その他必要な支援を行う。利用者すべてが町民であり、地域密着型通所介護事業所として地域福祉の充実に取り組んでいる。

事業理念「かけがえのない あなたと共に」～楽しく・笑顔・よりそい～

定員 指定地域密着型通所介護、介護予防通所介護 18人/日

2 職員の概要

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
管 理 者	1	0	0.8
生活相談員	2	0	1.2
介 護 職 員	2	3	3.7
看 護 職 員	0	2	1.0
機能訓練指導員(兼務)	(0)	(2)	(1.0)

3 営業時間

営 業 日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
サービス提供時間	午前9時15分～午後4時25分まで(送迎時間は除く) 今年度よりサービス提供時間 延長サービスあり

4 事業内容

- ① 生活指導 ②日常生活動作訓練 ③介護サービス ④送迎サービス
⑤ 健康状態の確認 ⑥給食サービス ⑦入浴サービス ⑧介護方法の指導
⑨ 個別機能訓練



デイサービス活動風景

5 監査及び行政機関調査の実施状況

なし

6 利用状況

	開所 日数	登録者数		利用延人数		主 な 行 事 等
		通介	予通	通介	予通	
4 月	26	23	7	221	55	
5 月	27	25	6	247	48	
6 月	25	23	6	215	45	
7 月	27	23	7	243	52	納涼祭
8 月	27	22	9	218	61	
9 月	25	22	10	193	65	敬朗会
10 月	27	22	9	195	64	
11 月	26	23	9	222	56	
12 月	23	21	9	212	52	クリスマス会
1 月	24	22	10	215	59	
2 月	24	29	9	269	60	節分
3 月	26	27	9	271	58	ひな祭り
R6 期間 計	307	282	100	2,721	675	
R5 期間 計	307	292	65	2,939	411	
増 減	0	△10	35	△218	264	

7 令和6年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室等の装飾（新緑、花、海、お月見、七夕、花火）
- (2) 敬朗会（利用者プレゼント作成）
- (3) 干支（小物作成）

8 内部研修状況

開 催 日	内 容	参加人数
12 月 28 日	実践介護技術支援事業講座	14 名

9 ボランティアの協力、活動支援ボランティア受入状況

ハーモニカボランティア月 1 回受け入れ開始。

交通安全指導委員による交通安全講習会 年 3 回開催

10 介護実習の受け入れ状況

コロナウイルスの状況を踏まえ実習を行った。

実習生受け入れ

受入期間	実習団体	実習内容	人 数
4 月 15～4 月 26 日	知徳高校 3 年	介護体験実習	2 名
6 月 10 日～6 月 14 日	知徳高校 2 年	介護体験実習	2 名
9 月 17 日～9 月 20 日	知徳高校 1 年	介護体験実習	2 名
R 6 期間計			6 名

11 防災訓練の実施

(1) 総合防災訓練

実施日：8月25日（日）

参加者：いずみの郷デイサービス 正規職員

内 容：火元責任者による安全確認。消火設備点検・確認、発災時の避難誘導手順の確認及び避難経路の確認、被災状況確認の徹底、危険物の保管確認。

福祉避難所の設営

(2) いずみの郷における災害時避難誘導経路確認

実施日：3月1～7日（土～木）

参加者：職員6名

内 容：火災時における避難経路確認

【事業の成果と課題】

今期の新規の利用者は19名、利用終了者は10名であった。全体での延べ者数は、前年同期比で46名増加している。

事業理念「かけがえのない あなたと共に」～楽しく・笑顔・よりそい～を合言葉に、地域密着型通所介護事業の利用者へのサービス提供向上とともに、職員一人ひとりがかけがえのない仲間であることを意識して、チームケア向上を図った。

昨年に引き続き飛沫予防のパーテーションの設置、手洗い、手指消毒の徹底などの感染症対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、生活リハビリを主とする体操に力を入れ、外出行事の方も実施した。今後も不活発な生活による日常生活動作の低下を予防し、体操やレクリエーションの充実を図っていく。

経営面の課題としては、前年同比で利用者は増加しているが、介護保険収益確保を目指し、新規利用者取得に向け努力していく。

認知症対応型通所介護事業廃止に伴い認知症の症状を見極めるため全利用者を通所介護事業へ2月より移行し受け入れを開始した。

3-3 指定認知症対応型通所介護事業

1 事業概要

市町村が事業者の指定及び監督を行う地域密着型サービスが創設され、現在、いずみの郷認知症対応型通所介護事業所は町内唯一の指定を受けている。その役割使命を認識し、従来より実践されている認知症高齢者への通所介護サービスおよび介護者への支援をもって、在宅生活の継続支援を行った。

事業理念「あなたらしく 私らしく」～心地よい場所・安心できる時間～

定 員 認知症対応型通所介護、介護予防認知症対応型通所介護 8人/日

2 職員の概要

職 種	常勤	非常勤	常勤換算
管 理 者	1	0	0.2
生活相談員	1	0.3	1.3
介 護 職 員	1	0.8	1.8
看 護 職 員	1	1	1.2
機能訓練指導員(兼務)	(1)	(1)	(1.2)

3 営業時間

営 業 日	月曜日～土曜日 12月29日から1月3日までを除く
サービス提供時間	午前9時15分～午後4時25分まで(送迎時間は除く) 今年度よりサービス提供時間 延長サービスあり

4 事業内容

- ① 生活指導 ② 日常生活動作訓練 ③ 介護サービス ④ 送迎サービス
⑤ 健康状態の確認 ⑥ 給食サービス ⑦ 入浴サービス ⑧ 介護方法の指導
⑨ 個別機能訓練



レクリエーション



個別活動

5 監査及び行政機関調査の実施状況

運営指導 令和6年10月24日（木）指摘事項なし

6 利用状況

	開所日数	登録者数	利用延人数	主 な 行 事 等
4 月	25	7	77	
5 月	27	8	82	
6 月	26	8	72	
7 月	26	8	78	納涼祭
8 月	27	6	65	
9 月	26	6	68	敬朗会
10 月	26	7	74	
11 月	26	7	77	菊祭り見学
12 月	23	7	54	クリスマス会
1 月	24	6	42	
2 月	25	0	0	
3 月	26	0	0	
R6 期間計	307	70	689	
R5 期間計	307	100	944	
増減	0	△30	△255	

※指定介護予防認知症対応型通所介護は利用実績なし

7 令和6年度の取り組み

- (1) 季節感のある居室装飾（桜、新緑、あじさい、こいのぼり、海、祭り）
- (2) 裁縫（雑巾、袋作り・小物入れ）

8 内部研修状況、ボランティアの協力、福祉教育、介護実習受け入れ状況、防災訓練の実施内容に関しては、指定通所介護事業に記載の通り。

【事業の成果と課題】

今期の新規利用者様2名、利用終了者は3名であった。全体での延べ利用者数は前年同期比で減少している。

令和3年度より新規利用者確保が難しい状況にあり、今年度は利用定員を12名から8名にしたが1日当たりの平均利用者は11月時点3名の状況で収益が悪化しており介護事業基金を取り崩すことで運営していた。令和6年度中間決算においてもマイナスが続いており令和7年3月をもって事業の廃止となった。

事業廃止に伴い認知症の症状を見極めるため2月から全利用者を通所介護事業へ移行を開始した。

3-4 指定訪問介護事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、要介護者等の要介護状態の軽減若しくは悪化の防止又は要介護状態となることの予防に資することを目的として心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護その他の生活全般にわたる援助を行った。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介助、② 排泄の介助、③ 食事の介助、④ 衣類着脱の介助
⑤ 清拭、⑥ その他必要な身体介護

(2) 生活援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯、補修、③ 住居等の掃除、整理整頓
④ 生活必需品の買物、⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 混合型（① 身体介護、② 生活援助）

3 監査及び行政機関調査の実施状況

10月9日実施 運営指導の実施結果：指摘事項なし、助言事項なし

4 利用状況

利用者数・派遣延べ時間

(単位：人、時間)

	訪問介護					総合事業		総合計	
	利用者数 (人)	身体 (時間)	混合 (時間)	生活 (時間)	計 (時間)	利用者数 (人)	派遣時間 (時間)	総利用者数 (人)	総派遣時間 (時間)
4月	16	81.0	126.0	18.0	225.0	12	58.0	28	283.0
5月	17	85.5	143.5	17.0	246.0	10	55.0	27	301.0
6月	18	99.5	138.0	18.5	256.0	11	61.0	29	317.0
7月	19	107.5	158.0	21.0	286.5	12	66.0	31	352.5
8月	20	109.5	150.5	20.0	280.0	11	58.0	31	338.0
9月	21	97.5	167.0	19.5	284.0	10	60.0	31	344.0
10月	24	177.5	168.0	19.5	365.0	10	56.0	34	421.0
11月	25	140.0	159.0	20.5	319.5	10	52.0	35	371.5
12月	23	128.0	137.5	12.5	278.0	9	43.0	32	321.0
1月	24	110.5	217.5	7.5	335.5	10	48.0	34	383.5
2月	24	90.0	176.0	1.0	267.0	11	59.0	35	326.0
3月	25	102.5	242.0	1.0	345.5	11	62.0	36	407.5
R6 期間計	256	1,329	1,983.0	176.0	3,488	127	678.0	383	4,166
R5 期間計	208	868.0	2,187.5	234.5	3,290	147	818.0	355	4,108
増 減	48	461	△204.5	△58.5	198	△20	△140	28	58

5 ヘルパー内部研修状況

開催日	内 容	参加人数
4月20日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・報酬改定について、感染症、自然災害BCPについて	13名
5月18日	・利用者情報、支援変更、連絡事項、モニタリング集計 ・ヘルパーの倫理・法令順守の理解について	16名
6月15日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・食中毒予防、食中毒の3原則について	16名
7月20日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・高齢者の脱水、熱中症対策について	14名
8月17日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・感染症の予防及び、まん延防止について	14名
9月21日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・訪問介護事業所のストレスマネジメントについて	15名
10月19日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・障害者虐待防止、身体拘束の適正化について	15名
11月16日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・訪問介護の事故防止の知識と緊急時の対応について	15名
12月14日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・事例検討	15名
1月18日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・看取りの介護について	15名
2月14日	・オンライン研修（利用者情報、支援変更、情報共有） ・介護、障害支援長泉町の動向、リエイブルメント	14名
3月15日	・利用者情報、支援変更、情報共有、モニタリング集計 ・訪問介護の災害対策	15名

6 その他

令和6年度の介護報酬改定で、訪問介護事業についてはマイナス改定となり、厳しい状況となったが、処遇改善金や加算を取得する事で、収支は保たれた。また、様々な感染症が出現し感染症予防対策についても、物価高騰にて予防衣や手袋等の物品が高騰した。感染症対策委員会を開催し、業務継続計画を実施し、予防まん延防止に努めた。

【事業の成果と課題】

令和6年度については、障害サービスを利用していた利用者が65歳を機に、介護保険へ移行し、介護の利用者が増となった。また、近隣の訪問介護事業所の閉鎖が相次ぎ、利用者が訪問介護のサービスを利用できない状況になった事から当該事業所で積極的に利用者の受け入れを行った。施設入所を希望される利用者も、金銭的に厳しい状況のため必要最低限の在宅サービスを利用し生活している状況があった。最期を自宅で看取りたいとの希望で、短期間であったが、在宅サービスを利用し、本人と家族の穏やかな時間を過ごす事ができた。今後の課題として、訪問介護の人員を増やし、利用者が安心してサービスを受けられるよう、必要な地域課題を随時検討していく。

『夢をえがき、夢を叶える』社協らしい、介護事業を展開していく。

3-5 障害福祉サービス 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、豊かな生活を実現するため、身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他の生活全般にわたる必要な援助を行った。

2 事業内容

(1) 身体介護に関すること

- ① 入浴の介護、② 排泄の介護、③ 食事の介護、④ 衣類着脱の介護、
⑤ 身体の清拭、⑥ 外出時の介助、⑦ その他必要な身体介護

(2) 家事援助に関すること

- ① 調理、② 衣類の洗濯や補修、③ 住居等の掃除や整理整頓、
④ 生活必需品の買い物、⑤ 関係機関との連絡、⑥ その他必要な家事

(3) 相談及び助言に関すること

- ① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

(単位：人、時間)

	身体障がい者				知的障がい者				精神障がい者				合計		
	利用 者数	派遣 回数	派遣時間		利用 者数	派遣 回数	派遣時間		利用 者数	派遣 回数	派遣時間		利用 者数	派遣 回数	派遣 時間
			身体	家事			身体	家事			身体	家事			
4月	17	273	268.0	64.0	5	34	19.0	25.0	8	64	22.5	56.0	30	371	454.5
5月	16	269	267.5	74.0	5	37	20.0	28.0	9	70	26.0	62.5	30	376	478.0
6月	16	250	252.0	70.0	5	35	21.0	24.0	9	63	22.5	58.0	30	348	447.5
7月	16	285	297.5	80.5	5	34	19.5	24.5	9	66	25.0	60.5	30	385	507.5
8月	16	273	244.5	84.0	5	35	20.5	24.5	8	66	26.0	59.0	29	374	458.5
9月	15	261	265.0	67.5	5	40	16.0	27.0	7	52	24.0	45.5	27	353	445.0
10月	15	270	257.0	68.0	6	41	25.0	25.0	6	53	39.0	37.0	27	364	451.0
11月	15	253	253.5	64.0	5	41	24.0	25.0	6	45	35.5	30.0	26	339	432.0
12月	15	251	265.0	63.5	6	41	24.0	27.0	5	43	33.0	26.5	26	335	439.0
1月	15	250	248.0	67.0	5	40	25.5	25.5	5	41	28.5	27.0	25	331	421.5
2月	15	233	237.0	50.0	5	37	24.5	23.5	5	44	28.0	32.5	25	314	395.5
3月	13	242	259.0	51.5	6	41	25.5	26.0	4	27	11.0	22.5	23	310	395.5
R6計	184	3,110	3,114	804.0	63	456	264.5	305.0	81	634	321.0	517.0	328	4,200	5,325.5
R5計	191	3,356	3,313	725.0	44	411	237.0	245.5	92	646	284.5	578.5	327	4,413	5,383.5
増減	△7	△246	△199	79	19	45	27.5	59.5	△11	△12	36.5	△61.5	1	△213	△58

【事業の成果と課題】

令和6年度は身体障害の利用者が65歳を機に介護保険に移行した事や、精神障害の利用者についても入院から施設入所に移行した事で利用者数、派遣回数が減となった。統合失調症、ストレス関連障害、発達障害等で日常生活が困難になってしまう利用者に寄り添い、適切なケアを心がけ支援を行った。長泉町自立支援協議会の事業所部会等に参加し、町内の障害者を取り巻く、課題や現状を把握し、今後の障害福祉サービスを展開していく。

3-6 移動支援事業

1 事業概要

利用者の尊厳を保持し、屋外での移動が困難な身体障害者、知的障害者、精神障害者、発達障害者の外出支援を行い、地域における自立生活および社会参加を促すことを目的として、社会生活上必要不可欠な外出や余暇活動などへの参加のための移動を支援する。ただし、通勤通学等常時利用する場合は対象外となる。

2 事業内容

(1) 移動介助に関すること

① 通院等の介助、② 社会参加等の移動支援

(2) 相談及び助言に関すること

① 生活、身上、介護に関する相談助言、② その他必要な相談助言

3 利用状況

	利用者数（人）	派遣回数（回）	派遣時間（時間）
4月	9	15	41.0
5月	9	13	41.0
6月	10	13	48.0
7月	6	9	27.0
8月	10	18	51.5
9月	11	16	56.5
10月	10	18	53.5
11月	12	23	59.0
12月	11	15	41.0
1月	7	10	21.5
2月	8	13	52.0
3月	9	14	44.5
R6 期間計	112	177	536.5
R5 期間計	110	231	524.5
増 減	2	△54	12

【事業の成果と課題】

令和6年度の派遣回数減については、本人や家族の生活状況の変化によるもので、就労や生活介護、放課後デイを利用する事で利用者の環境が変わった。移動支援については幅広いニーズがあるため、障害者や難病等で外出ができない利用者が、いきいきと地域で暮らせるよう支援を継続していく。今後も支援が継続できるよう、必要な人材確保・育成に努めていく。

3—7 地域活動支援センター事業（長泉町受託事業）

1 事業概要

障がい者の創作的活動、機能訓練等のサービスを通所事業として提供することにより、自立促進、生活改善、身体機能の維持向上等を図り、自立と社会参加を促進することを目的としている。

利用者が自らの動機づけを失わないようなケアを実施し、手段的日常生活動作（外出、買物、食事の支度など）の促進を図る。特に同様の障がいをもつ方との情報交換や意見交換、歩行や軽スポーツによる体力向上、地域社会との交流を通して、精神的な安定や気力を保ちながら明確な目標をもてるよう、障害福祉サービスの利用や多様な地域交流への参加について実践する。

2 事業内容

- ① 創作的活動事業（趣味・余暇活動）、② 社会適応訓練（外出訓練等）
③ 機能訓練 ④ 給食サービス ⑤ 入浴サービス ⑥ 送迎サービス

3 利用状況

月	開所日数	登録者数	利用 延人数	主 な 行 事 等
4 月	21	9	73	菖蒲の壁画作り、壁新聞作り、マスコット作り、調理レク、カラオケ
5 月	21	9	73	紫陽花の壁画作り、カラオケ
6 月	19	9	65	七夕の壁画作り、壁新聞作り、調理レク、カラオケ
7 月	22	9	64	夏の壁画作り、壁新聞作り、麦わら帽子のマスコット作り
8 月	21	9	66	秋の壁画作り、ぶどうの壁飾り作り
9 月	19	8	56	ハロウィンの壁画作り、貼り絵
10 月	22	8	69	秋の壁画作り、調理レク、カラオケ
11 月	20	8	63	クリスマスの壁画作り、外出レク
12 月	20	8	59	お正月の壁画作り、クリスマス会、外出レク
1 月	19	8	60	椿の壁画作り、アクセサリ作り、カラオケ
2 月	18	7	52	春の壁画作り、外出レク、カラオケ
3 月	20	7	54	桜の壁画作り、卒業式、カラオケ
R6 期間計	242	99	754	
R5 期間計	243	109	765	
増 減	△1	△10	△11	

4 活動報告

- (1) 外出訓練：紅葉狩り、買い物「新東名駿河湾ネオパーサ」
：買い物、食事「丸吉物産みかん直売所」「いけすや」
：神社参拝、食事「三嶋大社」「松韻」
- (2) 趣味活動：書道、デジタル絵画、カラオケ
- (3) 創作活動：各月のクラフト、壁装飾作品
- (4) 運動療法的活動：歩行訓練、健康体操
- (5) 作業療法的活動：彩色、刺し子、調理

【事業の成果と課題】

要介護認定による介護保険サービスへの移行に伴い登録人数の減少が続いたが、新規利用者に繋げることができず人数増加には至らなかった。アピール不足の指摘もあり、ニーズを探りながら活動内容等を広く周知し集客に努めていくことが今後の大きな課題となる。

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を取り入れながら外出訓練を少しずつ再開したことで、利用者から喜びの声があがり次回の外出を楽しみにされている様子うかがえた。

障がい者週間に展示するという目標に向かって熱心に作品作り取り組む利用者が多く、充実感や達成感を提供することができた。

地域活動支援センターを利用することで人との繋がりや安心できる居場所を提供し、社会参加や就労へと繋がるよう引き続きサポートを続け、自立を促進していく。利用者が明確な目標を持ち、今後も生きがいつくり、仲間作りができるよう支援していく。

Ⅱ 公益事業

1 在宅福祉総合センター

1－1 在宅福祉総合センター事業（長泉町指定管理事業）

1 事業目的

在宅福祉総合センターいずみの郷は、在宅で援護を必要とする高齢者や障がい者に、総合的なサービスを提供する設備を整備し、隣接する福祉会館と連携し、町の福祉の拠点として設置された。当会は、町の指定管理者として、施設利用による住民の地域福祉活動や住民相互の交流を図るため、集会室、研修室を各種団体の会議や研修会等に提供している。

2 管理業務の状況

(1) 総合清掃管理業務

① 日常清掃（土・日・祭日及び年末年始を除く毎日）

床面清掃・吸殻処理・紙くず処理・什器備品の除塵・トイレ清掃・給湯室・扉・浴室床面・浴槽・駐車場、外周・タイル、カーペット・施設内設備等

② 定期清掃（年1回～6回）

長尺塩ビシート、リノリウム床シート、ビニール床タイル・フローリング・窓ガラス（年6回）、タイル、カーペット、厨房内清掃（年2回）

床面剥離洗浄清掃、アルミカーテンウォール清掃（年1回）

(2) 総合設備管理業務

① 施設巡回保守点検業務

② 空調設備保守点検業務

③ 給水設備保守点検業務

④ 排水設備保守点検業務

⑤ 消防設備保守点検業務

⑥ 昇降機設備保守点検業務

⑦ 自動扉設備保守点検業務

(3) 衛生管理業務

① 室内空気環境測定業務

② 害虫等防除業務

③ 貯水槽清掃及び水質検査業務

④ 湯水（レジオネラ菌）検査

(4) 夜間機械警備業務（毎日）

(5) 電気保安業務（月1回）

3 施設利用状況（令和6年4月～令和7年3月）

(1) 会議室等件数・利用率及び利用料収入

月	集会室		研修室		貸館利用料 収入 (単位：円)
	件数 (単位：件)		件数 (単位：件)		
	有料	無料	有料	無料	
4 月	7	13	0	3	14,000
5 月	7	17	0	13	14,000
6 月	5	22	0	15	10,000
7 月	6	19	0	10	12,000
8 月	5	14	0	8	12,800
9 月	6	15	0	7	12,800
10 月	6	20	3	13	16,400
11 月	10	17	3	12	18,800
12 月	6	18	0	12	12,000
1 月	8	10	0	4	14,000
2 月	7	16	0	13	14,000
3 月	6	21	0	14	14,000
R6 期間計	79	202	6	124	164,800
R5 期間計	84	177	3	73	170,400
増 減	-5	25	3	51	-5,600

* 夜間貸出なし

(2) 長泉町在宅福祉総合センター利用者数

(単位:人)

月	開所 日数	集会室			研修室			合計
		有料	無料	小計	有料	無料	小計	
4月	26	190	300	490	0	20	20	510
5月	27	124	384	508	0	135	135	643
6月	25	78	387	465	0	113	113	578
7月	27	127	454	581	0	92	92	673
8月	27	114	318	432	0	77	77	509
9月	26	121	262	383	0	55	55	438
10月	26	117	281	398	42	86	128	526
11月	26	274	354	628	25	105	130	758
12月	23	151	400	551	0	102	102	653
1月	23	130	239	369	0	92	92	461
2月	24	136	318	454	0	144	144	598
3月	26	113	469	582	0	118	118	700
R6 期間計	306	1,675	4,166	5,841	67	1,139	1,206	7,047
R5 期間計	307	1,847	3,692	5,539	11	673	684	6,223
増 減	-1	-172	474	302	56	466	522	824

【新型コロナウイルス感染症対応】

原則、利用制限なし。

消毒液の設置、手洗い、咳エチケットなど基本的な感染対策は継続する。

4 水道光熱及び燃料使用量

月	水道光熱使用量				水道光熱費 (単位：円)
	電 気 (単位：kwh)	都市ガス 給湯 (単位：m ³)	都市ガス 空調 (単位：m ³)	上下水道 (単位：m ³)	
4 月	11,375	1,552	902	0	532,818
5 月	11,560	1,268	537	744	655,361
6 月	11,712	1,280	785	0	540,547
7 月	15,038	1,173	1,948	768	860,865
8 月	15,113	1,070	3,346	0	802,486
9 月	14,527	1,024	3,117	814	835,468
10 月	13,070	1,155	2,119	0	589,920
11 月	11,566	1,259	810	771	665,923
12 月	13,001	1,335	971	0	550,017
1 月	16,379	1,339	1,417	640	814,091
2 月	15,118	1,614	1,708	0	670,174
3 月	14,209	1,381	1,231	627	731,172
R6 期間計	162,668	15,450	18,891	4,364	8,248,842
R5 期間計	177,848	17,940	17,914	5,264	11,173,777

○水道光熱費・燃料費については、各サービス区分にて面積按分を行っている。

5 安全対策

(1) 在宅福祉総合センター入場者傷害保険

施設利用者を対象とした傷害保険に加入した。

1名あたりの担保内容、年間保険料

種 別	補償額	備 考
死亡・後遺障害	500万円	施設利用者を対象とする。
入院日額	4,000円	事故の日から180日を限度とする。
手術	外来20,000円 入院中40,000円	1事故に対して1回とする。
通院日額	2,500円	事故の日から180日の間のうち、90日の通院を限度とする。

(2) 防災訓練の実施

・火災防災訓練

実施日：6月7日（金）～13日（木）

参加者：職員20名

内 容：消火設備確認、避難誘導経路確認、危険物確認

点検チェック表に基づき、館内消火器・消火栓の配置、避難ルート、危険物の保管状況を各自確認。

・地震防災訓練

実施日：8月25日（日）

参加者：職員11名

内 容：開所時利用者避難誘導訓練、福祉避難所設置訓練

建物被災状況確認、避難誘導経路確保、報告。

長泉町との協定に基づき役場職員と共に避難所設置・受入訓練実施。

・消防消火、通報、避難訓練

実施日：11月14日（木）

参加者：職員2名

内 容：長泉町防火協会主催防災講習会参加

消防通報、煙体験・消火器の知識、LPガスの知識、地震体験、停電時の取り組みについて体験、講習受講。

※参加により消防法第8条に規定する訓練実施とする。

・火災、地震防災訓練

実施日：3月1日（土）～7日（金）

参加者：職員10名

内 容：消火設備確認、避難誘導経路確認、危険物確認

点検チェック表に基づき、館内消火器・消火栓の配置、避難ルート確保・確認、危険物の保管状況を各自確認。

6 修繕等実施状況（10万円以上）

（単位：円）

項 目	金 額	内 容
UPS（無停電電源装置）交換	103,400	無停電電源装置交換
貸館用ネットワークルータ更新	403,150	貸館用ネットワークルータ更新
研修室・集会室用無線LAN設置工事	380,600	無線LAN設置
作業室無線LAN設置工事	171,600	無線LAN設置
2階身障者用トイレ修繕	248,600	流水センサー、ウォシュレット更新
厨房床グレーチング交換	233,761	厨房内排水溝用アルミ板交換
受水槽FMバルブ交換工事	352,000	劣化バルブ交換
受水槽天板ライニング及び塗装工事	470,800	劣化部補修、塗装
作業室・事務室照明器具修繕	386,100	LED改修
1階身障者用、男・女子トイレ照明器具修繕	477,400	自動点灯、LED改修
玄関・ホール外灯照明器具修繕	484,000	LED改修
2階東側屋外アプローチランプ修繕	114,400	LED改修
1階廊下及びアトリウム照明器具修繕	490,600	LED改修
集会室照明器具修繕	491,700	埋込照明追加、LED改修
エントランス部修繕	224,400	水漏れコーキング、塗裝修繕
3階身障用、男・女トイレ照明器具修繕	327,800	自動点灯、LED改修
3階通路照明器具修繕	353,100	LED改修
1階応接室照明器具修繕	234,300	LED改修
入口通路アプローチ灯修理	189,200	LED改修
外灯入・切ソーラー機能付タイマー修理	149,600	デジタルタイマー更新
3階身障者用トイレ修繕	268,400	流水センサー、ウォシュレット更新
1階身障者用トイレ修繕	268,400	流水センサー、ウォシュレット更新
遊戯室照明器具修繕	270,600	LED改修

【事業の成果と課題】

貸館の一般利用においては、公共施設予約システムの利用が徐々に定着してきました。新規利用の伸びは鈍化しているものの、福祉団体などの利用は増加しています。

旧食堂については、今後の活用に向けてアンケートを実施し、「災害時の炊き出し拠点」や「子ども食堂」などの多様な意見が寄せられました。これを受けて、厨房の整備や使用ルールの整備を進め、赤十字奉仕団や福祉団体に開放しました。また、ボランティア団体や町内生産者、就労支援事業所の協力を得て、「いずみんマルシェ」と題した地域住民の交流イベントも開催。今後は、こうした取り組みを一過性に終わらせず開催するとともに、継続的な活用、貸出を検討していきます。

運営面では、物価高騰の中でもコスト削減に努めており、電力会社の変更による契約見直しや都市ガスの補助金により、光熱費を抑制。蛍光灯の製造終了を見据え、LED化も推進しています。引き続き、基本的な節電対策を徹底し、支出の最適化を図ります。

施設設備については、経年劣化が進行しており、部品の入手が困難になる事例も出てきています。今後も状況を的確に把握し、適切な維持管理を行っていきます。

さらに、平成26年に長泉町と締結した「災害時における福祉避難所の運営協定」に基づき、町と共同で避難所開設訓練を実施。締結から10年以上が経過し、災害リスクが高まる昨今、今後は個別避難計画に沿ったより実践的な訓練を進めていきます。併せて、社協内でもBCP（業務継続計画）の見直しや職員研修を強化し、有事対応体制の強化に努めています。

事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

社会福祉法人長泉町社会福祉協議会

